

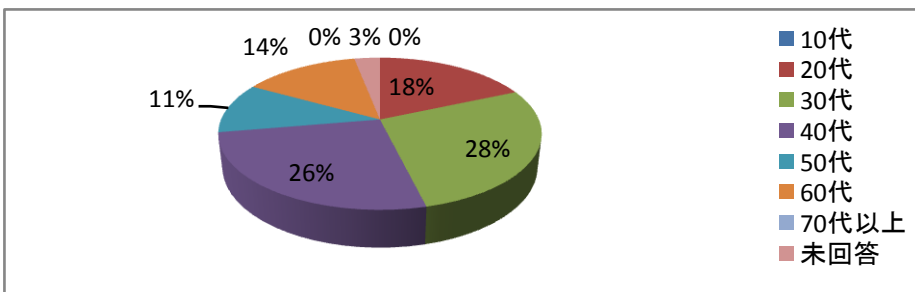
平成22年度モニターアンケート  
 総回答数: 65

設問1:【回答者】氏名及びメールアドレス確認設問。

設問2:【利用状況について】

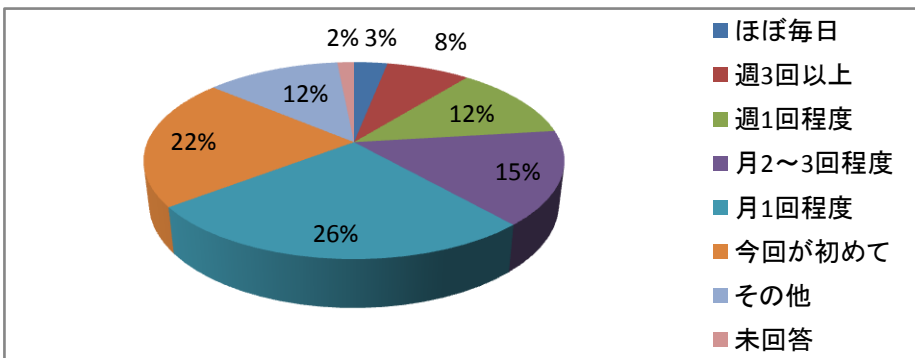
設問2-1:【年代】あなたの年代をお知らせください。

10代	0
20代	12
30代	18
40代	17
50代	7
60代	9
70代以上	0
未回答	2



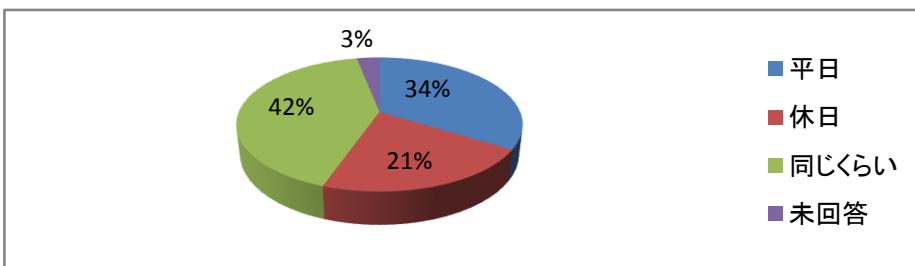
設問2-2:【利用頻度】センターの利用頻度はどのくらいですか。

ほぼ毎日	2
週3回以上	5
週1回程度	8
月2~3回程度	10
月1回程度	17
今回が初めて	14
その他	8
未回答	1



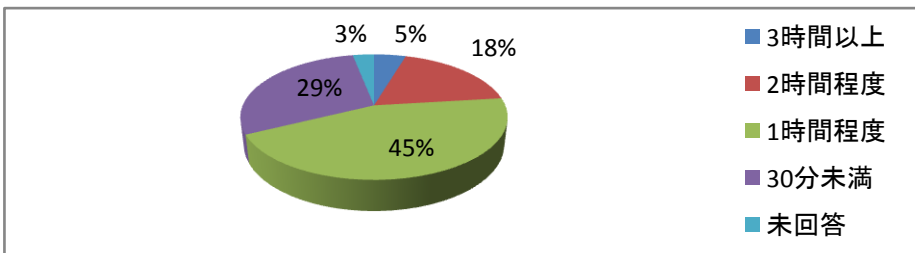
設問2-3:【利用日】センターの利用は主に平日ですか、休日(土曜、日曜、祝祭日等)ですか。

平日	22
休日	14
同じくらい	27
未回答	2



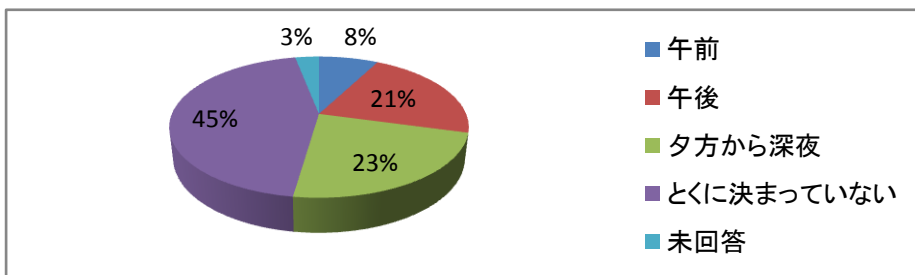
設問2-4:【平均利用時間】1回あたりの平均利用時間はどの程度ですか。

3時間以上	3
2時間程度	12
1時間程度	29
30分未満	19
未回答	2



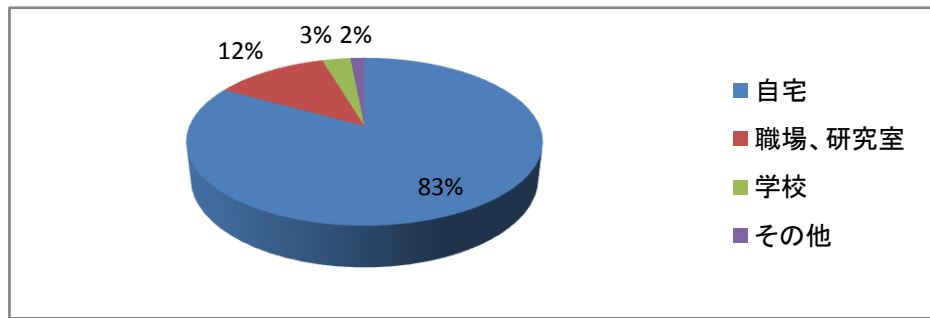
設問2-5:【利用時間帯】主に利用される時間帯をお知らせください。

午前	5
午後	14
夕方から深夜	15
とくに決まっていない	29
未回答	2



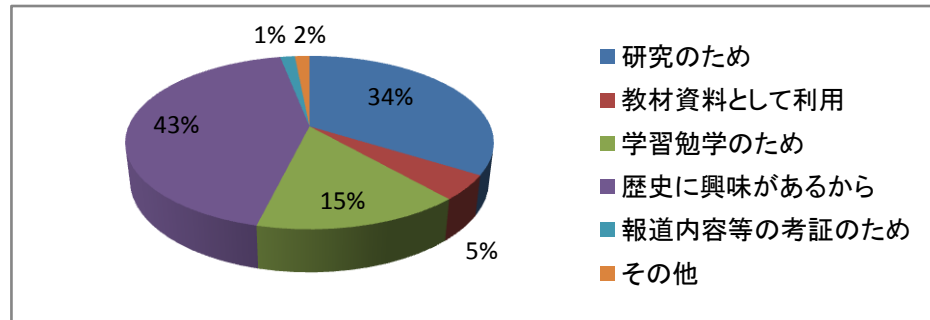
設問2-6:【主にどこから使っているか】あなたは通常どこからアジ歴を利用していますか。

自宅	54
職場、研究室	8
学校	2
その他	1



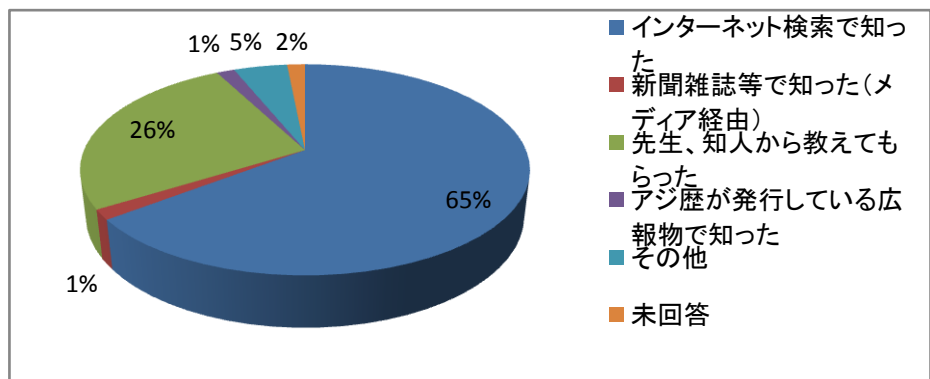
設問2-7:【利用の目的】主な利用目的をお知らせください。

研究のため	22
教材資料として利用	3
学習勉学のため	10
歴史に興味があるから	28
報道内容等の考証のため	1
その他	1



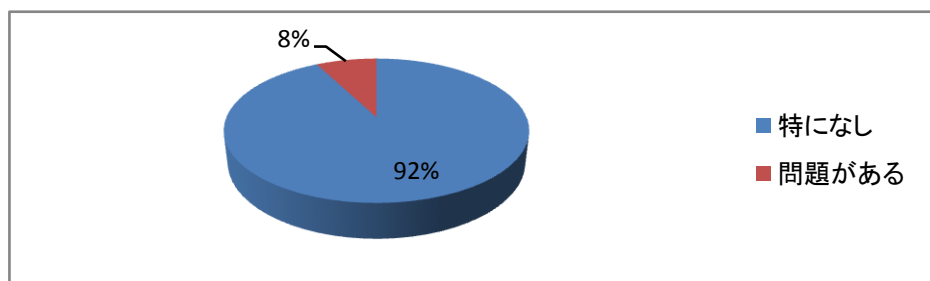
設問2-8:【アジ歴を知った経緯】アジ歴をどのような方法で知りましたか。

インターネット検索で知った	42
新聞雑誌等で知った(メディア経由)	1
先生、知人から教えてもらった	17
アジ歴が発行している広報物で知った	1
その他	3
未回答	1



設問2-9:【利用環境上の問題点】あなたのインターネット環境で、アジ歴を利用する際に問題がありますか。

特になし	60
問題がある	5

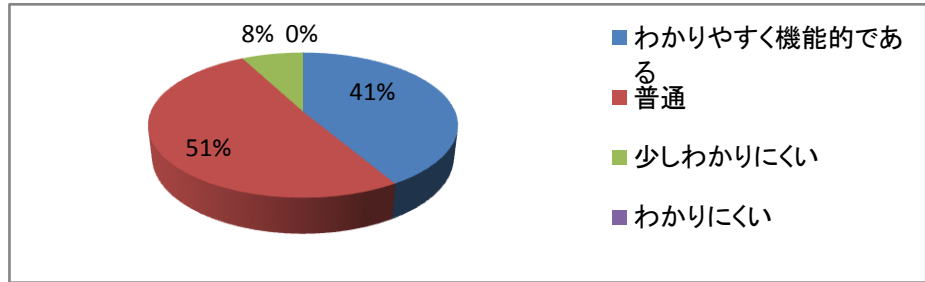


すべての画像をピーディーエフ形式にしてほしい。
自宅以外でみる場合にプラグインをインストールしなくてはならないので、インストールできないところでは、見ることができない点
職場のPCにはDjVuがインストールできないため、DjVuで資料が見られなかった。
インターネット特別展はまとめたほうがよい
写真週報の写真はとても画期的で、高校の日本史の授業で使えるネタが盛りだくさんなのですが、印刷したら字が小さくてぼやけていて読めません。解像度を高めて撮影しなおして、できれば全頁閲覧・印刷できるようにしてもらえないでしょうか。ユーザIDとか設定して限定した利用の形でいいのです。
1、語彙による検索機能がもう少し詳細なものもひろってくると使いやすい。2、印刷が途中で止まってしまおう。3、検索がうまくできない時のアドバイス機能がほしい。4、項目への[戻る]機能がほしい。
Internet Explorer 8の場合は問題ないのですが、Google Chromeで画像表示する際にたびたびフリーズしてしまいます。

設問3:【ホームページについて】

設問3-1:【トップページデザイン】トップページは、わかりやすく機能的になっていますでしょうか。

わかりやすく機能的である	27
普通	33
少しわかりにくい	5
わかりにくい	0



設問3-2:【トップページデザイン】トップページのデザインについてご感想をご記入ください。

見やすくわかりやすい
すっきりしていてとても良いと思う。フラッシュを使用していないので、個人的には見やすいと思う。
地味な印象です。
多少地味だがわかりやすい配置のデザインだと思う。
簡潔で、一見して自分が必要な事項のキーワードがわかる。
格調があって好印象です。
写真や項目わけなど、とてもわかりやすいです。
全体的に薄い色合いなので、黄色などは見えにくいです。もっとはっきりとわかりやすい色にして欲しいと思います。
機能的に構成されており、見た目のよさというのはあまり気になりません。
新着情報がトップページを開くだけで、すぐに参照出来る点を気に入っております。
青を基調にしている見やすいと思います。藤原紀香が親しみやすい雰囲気です。
おしゃれで素敵だと思います。
特別展がバナーになっており、アクセスし易い。また、構成もオーソドックスで選択し易い。藤原紀香のマスコットキャラクターも良い。
動画等の導入部分もあり、利用しやすい雰囲気がある
少しそっけない感じがした。また、利用の仕方を理解するまでに時間がかかった。
白地に青い文字で書かれていて、知的な印象を持っています。縦に長いデザインなので、スクロールするのが少し手間に感じる場合があります。
歴史を感じさせしかも、色相が統一されていて見やすい。
これは、見解の分かれるところで、あくまで私の意見です。目的を持って検索に訪れる人にとっては、検索のしやすいメニュー、資料の整備状況が分かるメニューにリンクしやすいトップページのほうが良いと思います。特別展は、良く纏めて頂いているので、楽しみにしています。
もう少し明るい感じにしてもいいかもしれない
他のHPと違い、ひじょうに固くないようなので、仕方がない面もあると思います。ただ、ひじょうにわかりやすいかというところではない。
女優さんがでてきて少し違和感を感じる。どちらかといえばジャーナリストとか堅い職業の方のほうが信頼度が高まる気がする。その他の点では清潔感というか見やすくいいと思う。ただ、特別展のような展示関係と資料閲覧がどっちつかずの感じがするので 専門的に検索したい方と一般的に見たい方との見るページをもっと別のカテゴリーにわけたほうが良いような気がする。また検索がもっともっと簡単にできることも大切。
一部の文字が少し小さくて見にくい。
トップページのバナーをクリックすると別枠で表示されますが、窓が増えていくと1回1回消していかなければならないので、同じフレームに表示するようにした方が便利だと思います
青を基調にして、すっきりしていて、見やすい。わかりやすいが、やや物足りない感もする。藤原紀香が最初に出てくるのは、私にはちょっとよくわからなかった。居なくていい……。トップページのインターネット特別展のバナーが小さくて、目をひかない。もっと大きくてもいいのでは。
青で統一されているので見やすいカラーを多く使用すると見にくいと思う
文字の大きさの比率、区分け、色遣い等々、見やすくとても好感がもてます。「検索」ウインドウが明確なものよと思います(海外の類似サイトは見にくいことも多い)。
白が多く事務的で堅苦しい。余白が多くスカスカな感じ。もっと強い日本のイメージが良いと思う。『日露戦争展Ⅱ』のような重厚感のあるデザインが理想。アジ歴の渦巻きマークが中国や韓国を連想させるので、日本らしさを出したほうがよいと感じた。
ごたごたしている。もっと、系統的に、年代別に、分り易くして欲しいと思います。資料は、現物そのままが良いと思いますが、100年以上前の出来事であり、60代の私でも難解なところが有ります、後世に残す為には、もう少し平易で、分り易くした方が、歴史資料として後世の参考に成ると思います。
シンプルで見やすい
普通に見やすい水準だと思います。
落ち着いた色で、とても素敵なサイトだと思います。
全体として見やすいのですが、真ん中に藤原紀香さんが配置されていることがどのような効果があるのかは検討する必要があるかもしれません。個人的には好感をもちました。
インデックスが多く見やすい。
とても見やすくスッキリしていると思います。

バナーも見やすい。クリックすると的確な資料が検索できる。
カラフルで逆にわかりにくいので、もう少しシンプルで良いと思います。
「→資料の閲覧」へのリンクを張った円形の画像が、他と似た系統の色であるためか、そこにリンクが張ってあることがわかりづらいが、それ以外は特に問題ないと思います。
項目ごとにわかれ、また、リンクについても視覚的に表示(特に右側)されているのでわかりやすいと思います。
いたずらに画像などがあって重たいよりも、機能重視がよいと思います。
通常はアクセス後すぐに史料閲覧を行なうのであまり気にしていなかったが、右側の特別展のバナーが増えたので、そちらから閲覧に行くこともできてよいと思う。
検索欄の扱いを大きくしてほしい
派手ではなく、さわやかな感じで気に入っている。配色も良い。お知らせが真ん中に掲載され便利である。
公機関のHPとして、PR部分と機能部分のバランスが良い。
少し空白部分(白い部分)が多いのではないのでしょうか。白い部分に毎月変わる歴史的な出来事の写真等を掲載してはどうでしょうか。
すぐに検索へ行くので、ほとんどデザインは見えていない。今のままでもかまわない。
利用しやすいです。フレームを導入するとより機能的になると思います。
興味深くはあるが特別展など、興味のある情報以外の情報が多く、閲覧に戸惑った。
現状のままで変えない方がよい。
もう少し暖色系の温かみのある色を取り入れたほうが良いと思います。ブルー基調の中で藤原紀香さんの真っ赤なドレスが目立つのが、ちょっとどうかと思います。
シンプルで、わかりやすい。上品な感じがいい。
やや情報量が多いような気がします。トップページはこれほどコンテンツが見えなくてもよいのではないのでしょうか。
どういった資料が利用できるのかを、トップページに持ってきた方がセンターの知名度・利用頻度はたかまるのではないかと。あるいはセンターを利用した著作物などアウトプットがあると目的がわかりやすい。
見やすいと思う。
いろいろな色が使われており、重要な点や特集などがわかりにくい。

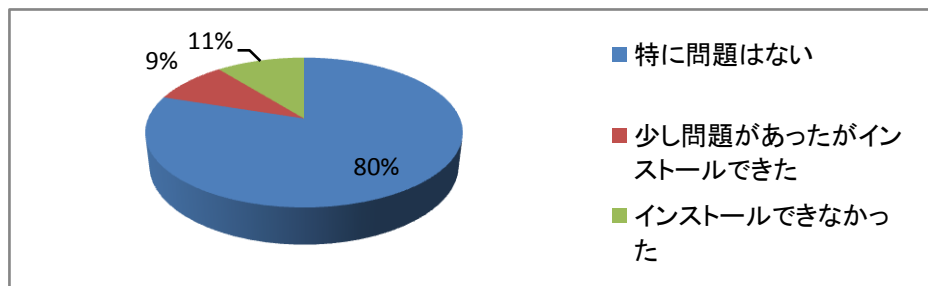
設問3-3:【トップページ改訂】トップページ・デザインの変更を検討していますが、トップページに掲載してほしい項目、バナー等がありますか。ご意見をご記入ください。

各省庁へのリンクがほしいです。
初心者には、どこから見ればいいのかわからなかったため、利用ガイドがあればいいと思う。
国立国会図書館の近代デジタルライブラリー全国の公文書館のバナー ~各都道府県をトップにすると数が多いので「公文書館」→「各都道府県 公文書館」と階層を設ける
歴史の小説に関するものなど。
デジタル化されている史料、デジタル化されていない史料が視覚的に分かりやすくしてほしい。
基本的に不満はないですが、検索窓が、よくあるポータルサイトのように、真ん中上方に大きく置いてあれば、なおいいと思います。
アジ歴スペシャルコーナーの簡単な内容紹介
DjVu Plug-inダウンロードはもう少し大きく目立つほうが良い。わざわざDjVuのホームページまで探しにいった。
このままでいいと思います。
歴史に関心のある初心者にも探究できるように、アジ歴ピックアップの項目を今後も増やしてほしい
交通アクセス、問い合わせ先が少しわかりづらかったため、可能であれば改善していただけたら良いかと存じます。
歴史を感じさせる雰囲気があり、でも有名タレントを起用していて、親近感が湧くし、余り換える必要は無いと思う。
資料の整備状況の分かるページへのリンクを、すぐ分かる位置に掲載していただきたい。
利用の仕方を文章だけでなく、図で説明していただけるようなページがあると分かりやすい。文章を読むのが多少億劫であったため。
わかりやすく何でも目立つ感じにしてほしい
このセンターの目的と資料の閲覧、一般に分かりやすく公開する展示物をもっと分けたほうが良いので まずトップページにはこのセンターが何をしたいか作ったセンターかをもっとはっきり打ち出すことが大事だと思う。展示転女優がでてくると 一般に歴史を勉強したいひとはいいけど専門的なものを見たい方はなんだか違和感を感じる。初心者向けと上級者向けにわけたらいとおもう。
「資料一覧」のようなものが欲しい
インターネットのメールアドレスで質問できる場所がない。ここの資料の扱う題材からいって、外部からの声を極力、聞き入れないようにしているかなとは思いますが、やむをえないとも思うのだが、(そうしないと難しい団体から、しじゅうなにかしらの声明が届くのかもかもしれない)ただトップの問い合わせ先から飛んで、電話と住所だけしか出てこないのは、インターネットという媒体を通じて資料を公開する、同センターにそぐわないと思った。
項目等、具体的にはありません。ただ、内部の共通意見として「5年」(年数はテキストです)以上はもつ自信のあるもの(頻繁にデザイン変更を行うサイトは、個人的にあまり好きではありません)。

Web専門家、マスコミ関係者、歴史研究家(大学教授)等の意見を取り入れるべきで、より学問的でしかも、後世に残る、利用し易いものにすべきと思います。
博物館や資料センターのリンクを増やしてほしい。
余白が多いので、文字を大きくしたらどうかと思う。
今回の大地震についての見聞・速報
全体にもう少し色のメリハリがあるとさらにいいかと思います。
topのバナーに疑問があります。特に、何故藤原紀香さんなのかがよく分かりません。歴史好きを標榜されている芸能人の方がいいと思うのですが。
「資料の概要」の項目が目立つ位置にあるとなお良いと思います。何の資料が閲覧できるサイトか一般の人にもわかりやすいようにトップページでのごく簡単に説明する必要があるように思います。ワンフレーズのキャッチコピーのような言葉で。
西洋の歴史についてもほしいです。
まだ知ったばかりなのでこのままであってほしいです。
上海にあった日本人租界地について調べています。アジア各地には同様の租界地があったはず。そこでの日本人はどんな生活をしていたのか？国際化社会と言われる現代と比較して興味あるところです。小生は上海東本願寺別院で生まれました。
国別、時代別に分けた入口を作っていただくとより良いと思います。
資料の検索ページへのリンクを明確化する、あるいは、トップページで資料のより詳細な検索をできるようにしていただくと便利だと思います。
文字のサイズを拡大、縮小する部分が小さいかと思いましたので、ボタン形式でトップページに載せて、クリックすると文字が拡大、縮小するようにしたらいいのかと思います。
国別の検索
詳細検索等にすぐ入れるようにしてほしい
過去のモニターや一般利用者等の意見等からよく利用する項目を集めて、利用目的に合わせたインデックスを増やすと、もっと便利になると考える。特に、年代ごと、関係国別、歴史別等の写真、書物別等。
当月、当日に発生した歴史的な出来事(写真、絵、新聞記事等)の表示
アジ歴史案内ページへの女優の写真は不要だとも思います。女優さんについては好き好きがありますので。個人的な意見ですがより簡潔なページが望ましいです。
項目やバナーではないが、藤原紀香の顔が出てくるのは好きではない。タレントの華やかさより、もっと知的な人を起用して欲しい。
海外(例:米公文書館等)も含めて、リンク先を増やして欲しい。
情報資料のリスト、アウトプット(センターの情報を利用した著作物)のサンプルなど

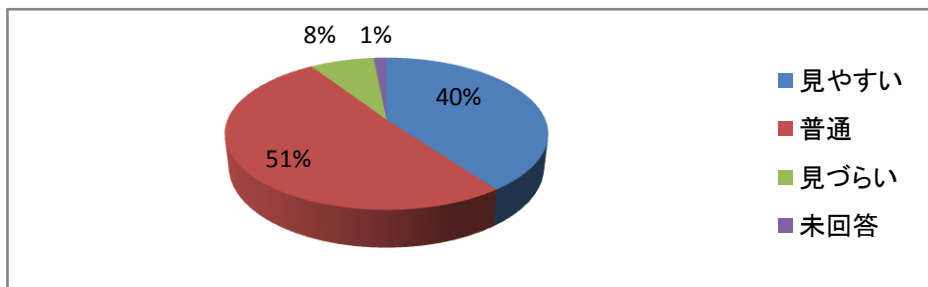
設問3-4:【DjVu】DjVu Plug-inのダウンロード及びインストールは、うまくいきましたか。

特に問題はない	52
少し問題があったがインストールできた	6
インストールできなかった	7



設問3-5:【お知らせ欄】アジ歴からのお知らせは見やすいでしょうか。

見やすい	26
普通	33
見づらい	5
未回答	1

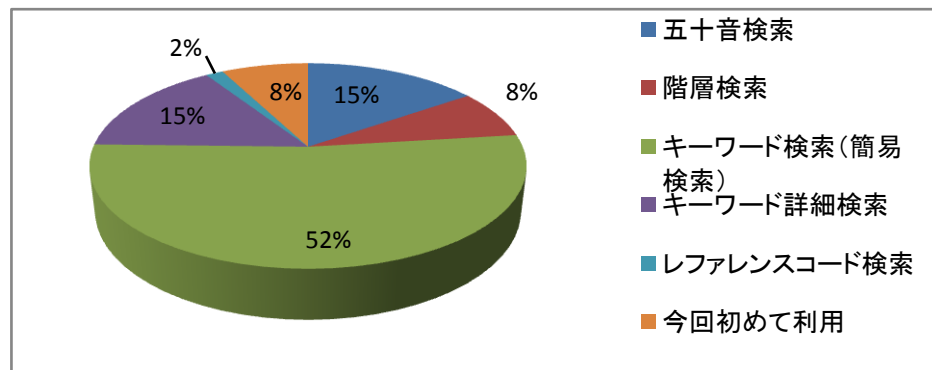


見出しから詳細に入れるので、わかりやすいと思う。
字を大きくするか、太字のほうが見やすいと思う。
ページの見出しが、公文書そのままなので、一般国民に分かり易いような、工夫(例えば2段見出し)のようなもので有ると、若い世代にも分かり易いと思う。
アジ歴からのお知らせそのものが、何処にあるのか分かりません。
女優さんの衣装の変更や話し方が目障り。
少し字が小さいかも。
お知らせの無いまま、データが更新されている事が多い

設問4:【検索機能】

設問4-1:【利用している検索機能】アジ歴の資料を閲覧する際、検索機能の中で以下のどの検索機能を利用することが多いですか。

五十音検索	10
階層検索	5
キーワード検索 (簡易検索)	34
キーワード詳細検索	10
レファレンスコード 検索	1
今回初めて利用	5



設問4-2:【検索機能への要望】資料検索をする上で、不満を感じる点、あるいは何かご要望等ありましたらご記入ください。

漢数字と算用数字などが区別されるようなので、不便に感じます。
今のところ、キーワード検索ですべて網羅できているので、不便を感じたことはない。
検索しても出てこない。
検索した史料のデジタル化がどこまで進んでいるのかをしりたい。たとえば、レファレンス検索して1つの史料が検出されたとすれば、その史料が所属するおおもと(たとえば『密大日記』)のデジタル化がどこまで進んでいるかを解るようにしていただきたい。
毎年答えていることだが、キーワード検索は全文検索に対応するべきだと思う。
検索結果が見難いです。
キーワード検索しても自分の見たいページになかなか行きあたらない。
何を検索しても大体ヒットするので、私は使い勝手は言いように思う。
思ったように、欲しい資料にたどり着けないように思います。
【階層】の見方がよく分からない。私自身のパソコンスキルの問題かもしれないが、印刷がしにくい。
キーワードではアンマッチする内容のものができて検索しづらい
キーワード検索で出てこなかった資料が、外部のポータルサイトの検索でアジ歴の資料として出てきたことがあります。キーワード検索でももう少し引っかかって欲しい
1. Google検索で、たとえば「御署名原本・明治十九年・勅令第二十四号・海軍条例」としてもアジ歴の資料に容易にたどりつけない。アジ歴を知らないかぎり、そもそもアジ歴で検索しないし、Google検索でかすりもしないと、そもそもアジ歴にたどりつけない。2. No Data in Englishという項目がありすぎて、事実上、英語のサイトとしては、かなりずさん。
戦没者名等で、下の階級の名は無いが、その他何名とでも良い、分れば、記載して欲しい!
検索条件に関連用語がいくつか表示されるが、コピーせずクリックで絞りこめるようにしてほしい。
ヒット率があまり良くない
1. 人名で検索した場合に、氏名の一部が重複(包含)する別人物がヒットしてしまうことが気になりました。絞る方法があるのだと思いますが、気づきませんでした。2. 50音検索に掲載されているワードをキーワード検索に入れるとヒットしないものが多いのですが、どういう理由かがわかりませんでした。
内容まで出てきてわかりやすいです。
五十音検索のひらがなの配列が出来るなら五十音表だといいです。全くこのセンターに慣れていない者の意見ですみません...
連想検索のような、近い検索もできると幅広い資料閲覧が可能だと思うのでできるだけしてほしい。
画像閲覧が同時に1ウインドウしか開けない複数の資料が同時に開けるようにしてほしい
検索結果として出てくる階層表示がもうひとつわかりにくいのですが、ほかにやりようがないのかもしれませんがね。
年表検索が便利
検索結果画面で、基本のキーワード検索欄は目立つ所に置いてほしい。検索結果の順序の法則がわからず使いにくい。「歩兵操典」を探しても関連文書ばかりが上位に来る。
検索結果の欄に、ふりがながあるといいかと思えます。また、年代域順に並び替えをしても、いつのころなのかが分かりにくいです。
階層が深いときに手間がかかる
年代とか、関係国別等にとすると検索が便利だと思う。
検索結果の一覧をソートしたい。
検索できない場合のアドバイス機能がほしい。
各資料に登録されているキーワードに誤字脱字が多く、キーワード検索をするときに不安を感じます。
入力データに誤字脱字が多い。
特にありません。すごく細かく情報データをとって下さっているので、キーワード検索でまったく想定外の文書が見つかることもあり、感動します。

いつ、どの様なデータが更新されているのか、全く判らない。(検索条件が数百とあった場合、新しいデータを見つける事が非常に難しい)誤字で登録されている書類が多い。(例:片仮名の「フ」と数字の「7」)  
特になし。敢えて言うなら英語での検索を可能にしてもらえたらと思う。

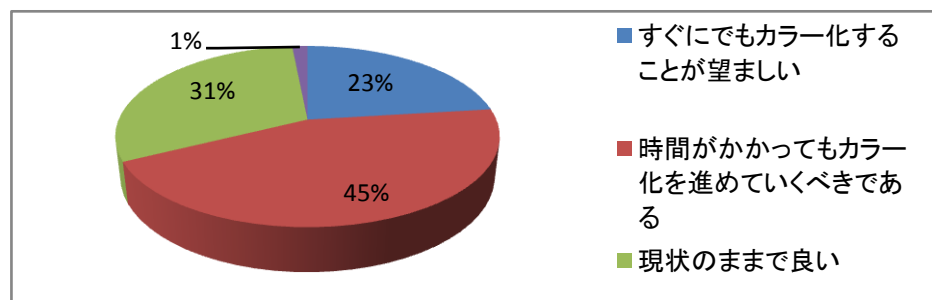
設問4-3:【追加してほしい機能】資料検索をする上で、追加してほしい機能等がありましたらご記入ください。

全文検索機能がほしいです。
検索した内容に近いものを教えて欲しい
人名に特化した機能があれば、と思う。
これも昨年答えたが、外交史料館に関しては、出版された目録を電子化して掲載して欲しい。階層検索に役に立つ。そして、あの本は既に手に入らないし、そもそも税金で作られた本なので、電子化して無料で公開しても文句は言われない。むしろ、有効活用だと思う。是非、推進して欲しい。
年代別の検索を明治や大正などでもできるようにして欲しいです。
トップページに簡単に検索できる方法の紹介があれば初めての人でも使いやすい。
具体的なご提案は、アイデアが出せないのですが、検索した資料からの関連資料の検索など、考えていただけると良いのかもしれない。
資料としてじっくり見たいときに、すぐ印刷できないので、全画面表示で資料だけ印刷できるようにしてほしい。(ボタン一つでできるように)
時代順や地域順で かつ重要度の高い順に検索出来たらいいと思う。専門家でないとなかなか検索してもでてこないと見ること自体をやめてしまうことが多いと思う。
内容検索
-「内容」が「原本」どおり漢字とカタカナで記されてあるのはありがたい。くわえて、現在の日本語での表記や、要約が加えられていると、もっとありがたい。(勅令言語は、日本人の私にとってもほとんど外国語なみに難解なので。)また、英語で要約文がついていると更に良いと思う。-写真だと、資料そのものの大きさがわからない。縦横の大きさがセンチメートルで記されているとありがたい。できればgも知りたいくらいだ。
戦没者名簿、叙勲者名簿、等
並び替え機能。(新旧、閲覧数など)人気検索ワードランキング→単に調べる目的での訪問が、関心のなかった知識の獲得へと広がると思います。「調べるサイト」から更に「楽しむサイト」に飛躍してほしいです。
今のままで特に問題はないかと思えます。
資料検索をしてクリックをすると、件名標題(日本語)など色々表示されますが、内容の下に「これはどういった資料なのか」を明示して頂ければ多くの方が興味を抱くのではないかと思います。
メールで質問できる機能はいかがでしょう。即回答というわけにはいかないことを承知しています。双方向のやり取りという意味で。
連想検索
地図上からの検索
年代、関係国別等のインデックスで検索を便利にする。
検索結果を一覧表示するときに、年代順、出典順などのソート機能が欲しい。
あいまい検索機能、もしかして「……」の検索機能
1、キーワード検索に合わせて、時代や年月日をプラスして検索できたら、より検索しやすくなるとおもいます。
2、書籍になっている資料の一覧が欲しいです。
階層検索をしやすくするため、資料カタログを作成、公開していただきたいです。
1. 検索条件にデータ登録日を入れて欲しい。2. (資料検索ではないが)印刷プレビュー機能を付けて欲しい。(資料の印刷時に、失敗する事が多い為)

設問5:【画像表示について】

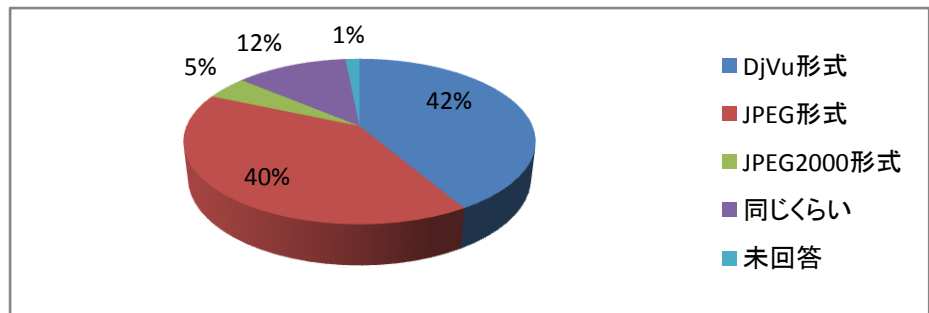
設問5-1:【カラー化について】画像の元データは白黒2値で入手しており、それをDjVu形式に圧縮して公開しています。画像のカラー化についてのご意見をお答えください。

すぐにでもカラー化することが望ま	15
時間がかかってもカラー化を進めていくべきである	29
現状のままで良	20
未回答	1



設問5-2:【画像形式】画像は、DjVu形式の他にJPEG形式で提供しており、平成20年度以降の国立公文書館提供資料についてはJPEG2000でも提供しています。主にどちらの形式で閲覧していますか。

DjVu形式	27
JPEG形式	26
JPEG2000形式	3
同じくらい	8
未回答	1



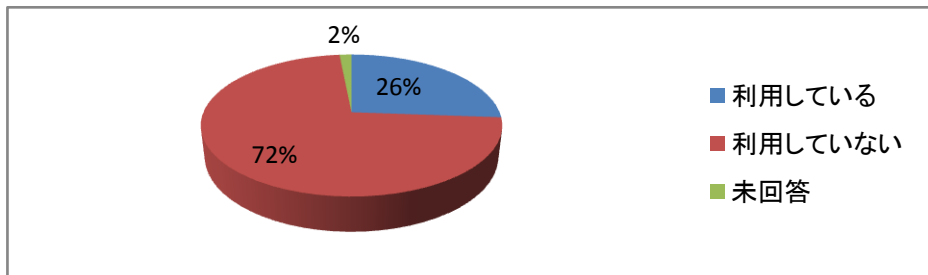
設問5-3:【利用形式の理由】ご回答いただいた形式をお使いになられている理由について、ご記入ください。

それしか閲覧できないからです。
JPEG形式について知らなかったから
よくわからないまま使用している。
デジカメなど一般的に使われているから。
画像が見やすく、推奨形式だけあって操作が簡単。印刷がしやすい。
慣れているから。
使いやすいので。
簡単で問題が生じないため。
1、はじめから使っているので慣れてしまっている。2、たとえばPDFのスタイルに比べて、抜群に軽い、一括ダウンロードがし易い。つまり、総じて、使いやすいので。
DjVuを推奨されていたのでダウンロードしました。
ダウンロードするのが面倒なので。
どのような形式でもたいして変わりはないです。
表示が見やすい。jpeg2000は対応ブラウザのバージョンによっては表示ができない
両方の形式でみて確認しているため。
画像は、ながめるだけで、画像を登録する事が無いので分かりません。
JPEG形式で大きな画像を見ると、全体画面の中で見たい部分を操作して探し出す操作が難しい。欲しいところになかなか行かない。ずれる。
特に理由は無いのですが、最初にアクセスした際にDjVu形式の方がきれいだと説明があったので、そのまま使用しています。
DjVuがインストールできなかったから。
いつも使っているので
DjVuがすぐに簡単にインストールできたから
コマンドが並んでいて使いやすい
よく使われる形式なので
なんとなく当サイトがDjVuを推奨しているみたいだから。JPEGで見られるならそのほうがいいのかもしいかな。画像保存などが簡単そうだから。
国立公文書館は信頼出来る。
パソコンが古いので、新しいソフトをインストールして重くしたくないため。
DjVuがインストールできない環境のため。
使いやすいから
少しでも良い画質のほうが望ましいからです
あまり画像の形式にはくわしくないの、こちらも普通に選択していました。
ページの移動が簡単。デフォルトでこちらに設定されているから。
見やすいため。
JPEG、ビットマップ、PINGが一番メジャーなのではないでしょうか。ほぼ全てのサイトがそれで画像をアップされていると思います。なのになぜ、DjVu形式なのかが理解に苦しむ面があります。
簡便であったから。
単にviewerをインストールしてあるから、程度の理由です。
そこまでソフトなどをインストールせずに通常の機能で見ることができるのがよいと感じる
違いがよくわからないため。
JPEG2000でも提供していることを知らなかった DjVu形式で不便が無いので使う予定も無い
ダウンロードが面倒なのと、メモリーをあまり消費したくないので、使う頻度の少ないプラグインは導入していません。問3-4)は、該当する項目がなかったの、とりあえず「問題なし」と回答しています。
ダウンロード無しで見ることができた。
プラグインはあまり入れたくないから。
昔から他の画像でも使っている形式だから。
Internet Explorerを利用していたときにはDjVu形式で閲覧していたが、Google Chromeを利用し始めたときにDjVuをうまくインストールできなかったため、そのままJPEGで閲覧している。

慣れているから。  
 形式は意識していません  
 文字の見やすさで選んでいます。  
 アジ歴資料については、DjVu形式での閲覧に慣れているから。  
 DjVuをダウンロードしても、画像が出てこないの。  
 DjVu形式は、せっかくダウンロードしたのに機能しない。資料は出るが、頁がめくれない。  
 見知った形式のため安心感がある。比較的軽そう？というイメージのため。  
 ノートパソコンでは容量が小さく、新しいソフトをダウンロードしたくないから。デスクトップで閲覧する場合にはDjVu形式を利用しています。  
 平成20年度以前の資料も閲覧・印刷する為  
 アプリケーションのスピードのため。  
 これしか、分からなかった。

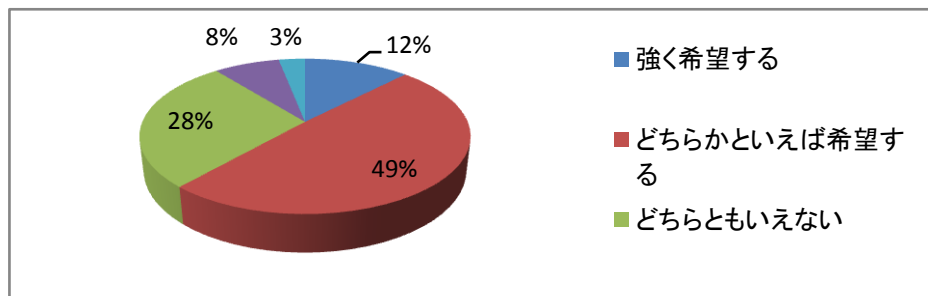
設問5-4:【JPEG2000】JPEG2000形式は利用したことはありますか。

利用している	17
利用していない	47
未回答	1



設問5-5:【PDF】画像のPDF化について、導入希望はありますか。

強く希望する	8
どちらかといえば希望する	32
どちらともいえない	18
希望しない	5
未回答	2



設問5-6:【画像全般への要望】他に画像全般についてご要望がありましたらご記入ください。

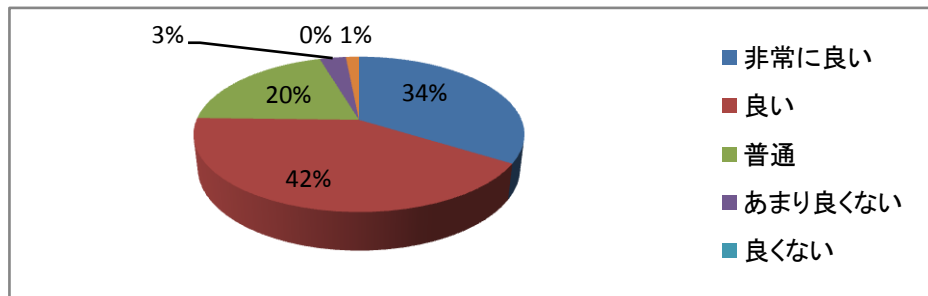
文字の不鮮明な画像があるので、テキストがほしい。  
 画像が重たくないうようにしてほしい。  
 是非カラーにして欲しい  
 朱書等の多い史料についてはカラー化が望ましいが、必要な史料から実施すればよいと思う。  
 画像があると理解が深まるので、画像を多くしてほしいです。  
 今の画像であまり問題はなく閲覧できています。画像をカラー化することで面倒なダウンロードなどが必要になれば利用者が減るかもしれません。  
 PDFはDjVuに比べれば、普遍的なフォーマットかもしれませんが、軽くないので私個人としては、PDFが追加されても乗り換えません。しかし、新規利用者の開拓のことを考えると、PDFの追加は望ましいです。  
 画像も鮮明で見やすいです。  
 PDFでもいいが、PDFファイルは改造できるので、問題ないか？大きな画像を印刷しようとするとうまく行かない。画像を取り込んで、全体の画像を縮小し印刷する以外、良い方法が無い。全体を印刷できるようにしていただくと助かる。  
 文書の資料は、どうしても読み取りにくい文字があります。スキャンの閾値によっては読み取れる場合があると思いますので、実現は難しいかもしれませんが、多値で読み取って、ユーザーが自分のブラウザ上で閾値を変えられると、解説の役に立つと思います。  
 原本そのままの感じが、ひじょうに歴史を感じます。古いものは長い時間を生き抜いてきたことの証ではないでしょうか？ ひじょうに重厚さを感じます。  
 専門家ではないので 一般人にとってはここまでみれたら十分だと思う。  
 形式を1回1回選ぶのは、手間がかかる一度JPEGを選択したらずっとJPEGで開けると便利  
 PDF化の利点がいまいちわからない……。PDF化はワード資料を改ざんしないためのもので、写真資料として提供するなら、あまり意味はないのでは？ただ、いろいろな形式にすることで、多くの人に見てもらいやすくなるなら、いろいろな形式で提供したらいいかとも思う。ひとつにしぼらずに。  
 画像は、残っているそのままが良い。  
 全体としてさらに見やすくなると思います。  
 画像が鮮明で閲覧しやすいです。  
 「何故それを行うのか」という説明が不足しているように感じられます。

満足しています。  
 画像だけ見せるのではなく、センターとしてどう解釈されているのか、研究者がおられると思うので、一定の見解を示していただけたらありがたいです。  
 PDF化だけになるとソフトをインストールしていない人などが不便をかけるのでJPEGと併用などがいいと感じる  
 画像閲覧が同時に1ウインドウしか開けない複数の資料が同時に開けるようにして欲しい引用などの利用を完全フリーにしてもらいたい  
 近デジなどと比べて、さくさく動くのでよいと思います。  
 もし鮮明でない資料は、解析の上鮮明にして載せる。  
 JPEG形式の場合、非常に使いにくい。多くの人はまずJPEG形式で試すと思うので、初期表示を大きくするなど使い勝手の向上を望みます  
 今のままで大丈夫だと思います。  
 史料原本の問題だとは思いますが、裏写りやかすれなどは可能な限り修正・復元することはできないものでしょうか。  
 だいたい良く見える。写真が暗い場合は、周囲を明るくする等して工夫できないか。  
 郵政省(貯金関係)提供資料の画像が良くないので、いずれ差し替えて頂きたい。  
 拡大する時に時間がかかる。うまく機能しない場合がある。縦横を替えて、印刷しようとする非常に時間がかかる。しばしば印刷できないでフリーズする。  
 DjVuでの閲覧の際、ページが変わると左上に中心が移ってしまうので、改善いただければ助かります。  
 どうしてDjVuが動かないのか、教えて欲しい。うまく使えない場合の設定の仕方の訂正などあれば、教えて欲しい。  
 写真データは、もっと鮮明にして欲しい。

設問6:【インターネット特別展】これまでに次のインターネット特別展を公開しています。それぞれご覧いただき、内容に関する評価や改善すべき点などがありましたらご記入ください。

設問6-1:【日露戦争展Ⅱ】

非常に良い	22
良い	27
普通	13
あまり良くない	2
良くない	0
未回答	1

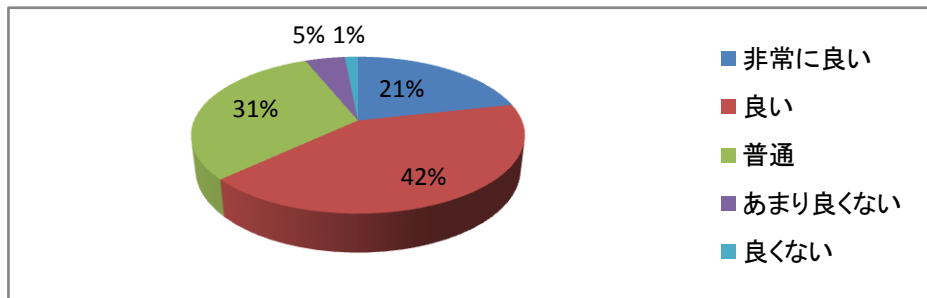


203高地についてくわしく知りたいと思います。  
 よく知らなかったので興味深かった  
 詳しく丁寧に記しています。  
 もう少し、詳しい歴史的背景の説明がほしい。  
 資料が多いので詳しくわかりました。  
 日ごろあまり目にするできない写真に興味深かったです。  
 デザインがものすごく洒落ていて、なおかつ画像、画像が効果的に用いられていて、分かりやすい。特に感服したのは、「資料解説」と「地図」です。特に、前者のように、出典を明記し、その史料情報を詳細に述べていくという手法は、記憶の限り、これまでの企画では手薄だったかと思います。「日露戦争への興味」を二次文献で満足していたレベルから、一次史料まで目を通す研究者へのレベルまで、昇華させるための、有用な仕掛けである、と思いました。素晴らしいです。  
 さまざまなアプローチで日露戦争について解説いただき、非常にわかりやすかったです。サイトのデザインも特に見やすかったです。  
 坂の上の雲がドラマ化されるなど、日露戦争が旬の話題なので良い。深く知りたい人に対して資料を使って解説しているので親切である。しかし個人的にはDjVuのインストールがうまくできなかったのも、資料を見ることができない。JPEG形式でも見れるようにしてほしい。  
 事実を知ることが歴史を学ぶ上で大変大切なことだと思っています。特に気づきません  
 歴史の資料などで見た事も無いような写真があり、戦闘の舞台の緊迫した感じが感じられました。  
 左にある目次ですぐに見たい部分が見れるので内容とも満足している  
 関連資料がJPEGで見られたらもっと良かった  
 資料内容まで、「ですます」の文体で書いてあるところがあり、子供向けみたいで抵抗がある……。たとえばニコライ二世について「暗殺されました」ではなく「暗殺された」でよいのでは？「坂の上の雲」を多数引用しているが、権威ある歴史資料が、小説というエンターテインメントの文章を引用しているところに、信憑性がゆらぐ気がする。小説が歴史資料を引用するのはわかるが……。逆をするならば、それなりの理由を提示してもらわないと、歴史資料の補足情報として不安が残る。  
 デザインもよく、まとめ方もわかりやすい。用語集からリンクできるとよい。(地名→地図へ・職制→職制図へ)  
 政治と軍事の協力関係がうまく整理されている  
 地図での説明がおもしろかったです。  
 大変丁寧でわかりやすいまとめでした。

総合年表のところに解説がさらに見れたので一連がわかりやすかったです。  
 これは面白かったです。特に、私達は既に日本史から離れて時間が経っていますので、何故日露戦争が起きたのか、日露戦争とは何だったのかを時系列的に解説されていて、理解を促す意味では良かったですし楽しめました。  
 関連通史も的確でした。資料に合わせて人物の発言録などあれば立体的＝ハラハラドキドキになるかも。本コーナーは坂の上の雲で十分なのですが。  
 図や特に一次史料を活用した解説は迫力がある。  
 従来の定説以外の詳細を見ることが出来て嬉しい  
 その時代背景が何となく分った気がする。  
 内容、資料ともに充実しているいいです。  
 地図や年表から関連史料にリンクさせている点ことによって非常に理解しやすいと思う。  
 戦争の背景等がわかりやすい。  
 見やすく、分かりやすい。  
 安っぽく、情報にたどり着くのが困難。  
 「日露戦争展Ⅱ」が一体どこにあるのか、行きつくまでにやや時間がかかりました。トップページの一番目立つところにあっただんですね。  
 特に写真を多用している点は、初めて利用した人に興味を持たせるという点でよいと思う。日露戦争展Ⅰの方に入ってしまった、Ⅱが最初探せなかった。新着の方がメインであれば、バナーを分けるなどして、目立つようにしてほしい。

設問6-2:【条約と御署名原本に見る近代日本史】

非常に良い	14
良い	27
普通	20
あまり良くない	3
良くない	1



プラグインがなくてもみれるようにしてほしい。  
 どこからみていくか決めにくかったです。  
 御署名原本とは何かを詳しく知ることができて知識が広がりました。解説は文字が小さくて多くて読みにくかったです。  
 年表検索は画期的だが、事項をクリックして更に検索しなければならないのは使いにくい。何度も手間が掛かるので、最初にクリックした時の興味は段々削がれるのでは。  
 見やすくテーマの切り替え等もできるのでよい。個人的には上記に同じく、DjVu形式でしか見れず、自宅で資料を開けないのが難点。  
 文字がやけに多い気がします。  
 年表は見やすいけれど、ひとつひとつの出来事の詳しい内容自体をまた一回一回検索しないと行けないので面倒。その詳細くらいはすぐに検索せずに見れてもいいと思う。  
 年表検索のアイデアが良い  
 原本で見られるというのが画期的  
 年表の年代が見にくいと感じた  
 年表がとても良いと思った。各項目をクリックすると、各年代に飛ぶようになっているのも良いと思う。  
 ホームページの宣伝、広報がまるで、無い。  
 画像の向き(正立して欲しい)  
 年表の文字が小さい  
 条約という視点がおもしろかったです。  
 特定のテーマで近代史を通覧でき、とても有意義でした。  
 ・条約を10年単位で見えていくことができるため各国との比較もしやすかったです。・世界地図をいれるとさらに分かりやすくなると思いました。  
 動作が不安定で、企画そのものが何をやりたいのかよく分かりませんでした。DjVuプラグインにこだわっておられる理由がよく分かりません。  
 むしろ原本に美術的価値を見出す＝感じるほど見事な資料でした。  
 時代が後になるにつれて、10年単位で見せるのは窮屈になっているように思えます。5年バージョン、10年バージョンなどバリエーションがあったらいいのではないのでしょうか。  
 年表検索はいいアイデアだと思います。すぐに一次史料にアクセスできるのは素晴らしい。  
 見たい時点での資料が楽に探せて良い  
 ピンとこない場面も合ったが、これが歴史そのものの根源・・・  
 署名など、あまり見る機会がないものであったので、とても参考になりました。  
 原本が実感があって良い。近代日本史との結びつきの理解が難しい面があるので、解説を工夫する必要があるのではないか。

各特別展の中で最も興味を持ちました。今後も紹介される条約数を増やし、関連資料紹介を充実させていっていただきたいです。

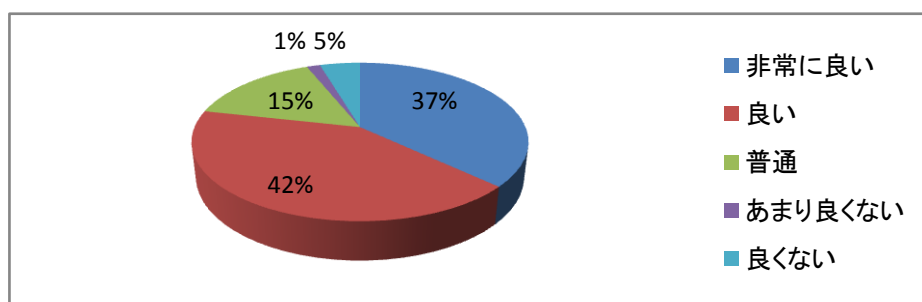
1. 年数表示が上下2段になっている意味がわからない。2. 年数部分の縦線が各事項の月(?)を表していると思うが、a.各項目毎にその月日を明記する方が判りやすい。b.縦線をクリックするとその項目名が点滅する・その項目の月日を表示する等の親切さが欲しい。

マウス操作では年表のスクロールにコツがいるようでした。それからこれは全体を通じて思うことですが、仕方のないことなのかもしれませんが、どうも歴史事項についてその関連文書で確認するという順序で作成されているコンテンツが多いように感じます。ですが、実際は文書から出来事が見出されてゆくわけで、その手順というか方法を、ひろく一般の方に知っていただくような作り方をすべきであるように感じました。

目的があつてみた場合は、絞りこむので見やすいが、今のままだと、情報量が多すぎて、迷ってしまった。

### 設問6-3:【『写真週報』にみる昭和の世相】

非常に良い	24
良い	27
普通	10
あまり良くない	1
良くない	3



現在 写真週報は手に入らないですね。

大変わかりやすい。できれば歴史の教科書・資料集にも同じスタイルで掲載してもらいたいぐらい。

懐かしかった

説明が詳しいのは良いが、文字ばかり追うのが少々つらいので、関連写真を挿みながら紹介して欲しい。

文字のフォントが読みにくかったです。

写真があることで世相がリアルに伝わってきました。写真週報の説明が文字が多くて読むのが大変でした。

写真雑誌を扱っているのに、テキストの量が多く、写真が少ない(そして小さい)。写真は白黒(これは仕方ないにして)、テキストもほぼ白黒のみ。文字の大きさもほぼ一緒。強調もない。もう少しデザインに気を遣うべき。トップページも不親切だと思う。

サイトのデザインがシンプルでわかりやすかったです。

広告にみる世相がおもしろい。広告は重要な資料だと感じることができる。

1940年に幻の東京オリンピックがあったとは初めて知りました。時間が会ったら351冊を全部ひも解いてみたいと思いますね。もうすごいヒントが隠れているように思えます。

こういう週報があったとは知らず 初めて見ました。おもしろかったです。年表で簡単に見れていいと思います。ただ、写真のスナップがパツパツとかわりくるくる回るので少し見ていると気分が悪くなった。

トップページ「コンテンツの紹介」にリンクが貼ってあればと思う。

デザインがすばらしいぜひカラーでも見たい

トピックスの記載が参考になる

非常に興味深くおもしろかったが、トップページの説明が明朝体(?)なのが見づらい。ふつうにゴシック体にしてくれたほうが、ネット画面上では見やすい。

見ていない。有るのを知らなかった。

昭和の懐かしさがよくわかり、おもしろかったです。写真がとても興味深かったです。

他の資料とも並行して見られるところが良かったです。

画像をクリックしたら、ファイルか何かをDLしなければならず、イマイチ楽しめませんでした。

知る権利と言われていますが情報を整理して国を統一していく当時の政府の意思が伝わります。取材も多岐にわたり高度であると思います。

一部だけ公開というのが残念です。ぜひ全頁開示してください。また、字が読めるように解像度を高めて撮影をしてください。閲覧している者にとって雰囲気だけわかってほしいへんもどかしいです。

『写真週報』すべて閲覧可能に成っていることを今回初めて知りました。これはすごい!ところで、「情報局」はその名称の曖昧さがあります。「内閣情報局」とされることがありますが、官制に従えば「内閣」がつかない「情報局」だろうと思います。この特集中では「内閣」付ですが、これは明確な意図があつてのことでしょうか。

すばらしいです従来は古書などで高価な資料が閲覧できるのは大変ありがたいです

すばらしいです。とくに、記事一覧などが載っているところも。

もっと多くの写真が見たいと思った。

年表等のメニューが小さくわかりにくい。年表やトピックスの他に掲載号の一覧がほしい

昭和の世相について、当時の報道を検証対象としたところが面白いと思います。

この特集によって『写真週報』という史料を知ることができた。

昔の世相が写真1つひとつの風景や品者、格好、型式等からうかがえて楽しい。印象に残る。

写真資料室の項目を大きくアピールして、早くこの頁へ行けるようにしてほしい。写真を見るつもりなので、最初に長い解説があると、冗漫な気がする。字体に違和感がある。

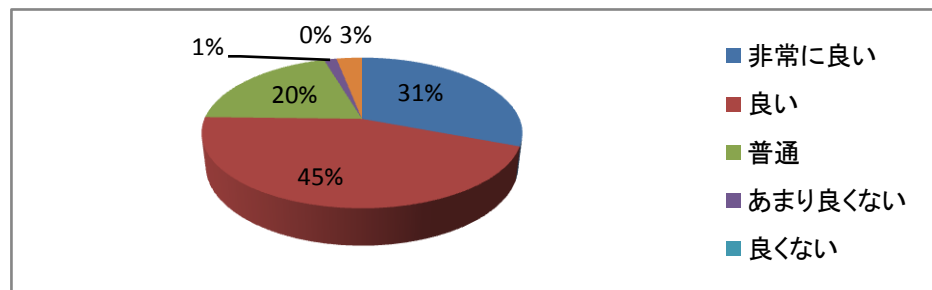
『写真週報』は二次史料であり、アジア歴史資料センターは、一次史料の紹介を優先すべき。

ここから各巻の資料画像をご覧いただくことができます。という文字列の部分が文字の色が変わっています。ならば、この文字列(少なくとも「ここ」の部分)にリンクを付けて欲しい。

文書のみならず、このような雑誌資料をもデジタルデータで公開されているとは知りませんでした。構成や文章もわかりやすく、大変勉強になりました。  
 歴史的資料をインターネットで閲覧でき、時代をおってみることができるので助かっている。  
 写真週報の中身を検索できると興味のあるものが探せると思った。

設問6-4:【公文書に見る日米交渉】

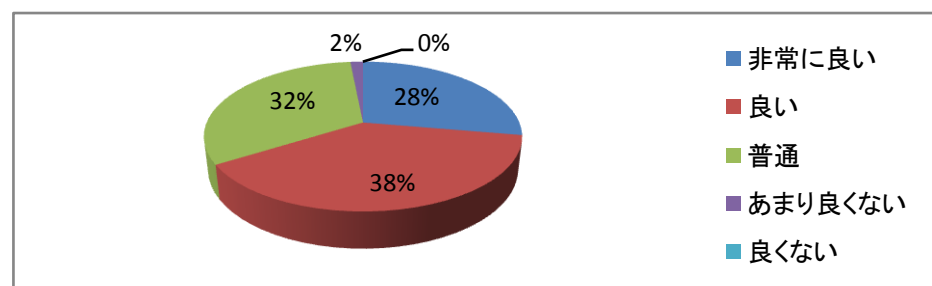
非常に良い	20
良い	29
普通	13
あまり良くない	1
良くない	0
未回答	2



密約の問題などは残念でしたね。  
 よくわからなかった  
 こんなことがあったのかと興味深かったです。  
 主要人物の写真に興味をおぼえました。最初の映像でハルノートとは言葉があり思わず引き込まれました。  
 日米交渉の推移、関わった人物の紹介がなされており、最近NHKで放送している、NHKスペシャル「日本人はなぜ戦争へと向かったのか」で興味を持った方が、こちらに辿り着けば、より深く考える材料を与えてくれると思う。  
 公文書を見ることができるのはうれしい。教材資料としても大いに活用することができる。しかし上記に同じくDjVu形式のみなのが残念。  
 知らない内容がたくさん出ております。どうして戦争に進んだのか時代背景を知ることは歴史を繰り返す原則から考えてもひじょうに勉強になります。  
 こちらも写真の動きがくるくるして少し気分が悪くなった。年表の出来事のところにカーソルが来ると詳細がすぐにみれて とても見やすかった。  
 アンケートに書くために初めて拝見したが、良い資料なので、今後も参考にしていきたい  
 -ダイジェストの年表がとても見やすくてよい。-「ですます調」は変だと思う。-英語文書には日本語訳がついていると親切。-英語文書も、公文書の原本写真は文字が見ずらくてよく見えないので、英語で全部書き抜いてであると親切。  
 これからの改善を希望す。  
 トップのフラッシュが素敵です。年表は項目の枠を固定してほしい。下に送った時、わからず混乱する。  
 オープニングで写真が動くのがドキュメンタリー風でももしろい。引き込まれる  
 説明がわかりやすく楽しく見られました。  
 とても細かく立体的に組まれていて勉強になりました。  
 歴史の息吹を感じたいので、画像はJPEG、ビットマップ、PINGがいいのではないかと思います。  
 公文書一つで歴史の評価ががらりと変わる、そんな体験をしました。生々しさが伝わります。  
 図表が多く使用され、迫真力があります。一次史料にすぐにアクセスできるのは大変素晴らしいです。  
 資料の表示が遅い。  
 全体が俯瞰できて良いと思う  
 今も昔も、やはりアメリカとは善悪・優劣は別にしてパートナーであり続けるのだと強く感じた。  
 一連の流れが分かりやすいです。  
 参考資料室が充実していてよいと思う(「重要資料」が準備中であるが)。  
 交渉経過等が公文書によるため、正確な感じで、信用がおける。  
 現在のところ仕事上で必要ないが、いずれ必要になるので、この特別展は残しておいてほしい。  
 構成が明快で、見やすく、面白く拝見しました。  
 詳細年表がみやすい。

設問6-5:【公文書に見る岩倉使節団】

非常に良い	18
良い	25
普通	21
あまり良くない	1
良くない	0

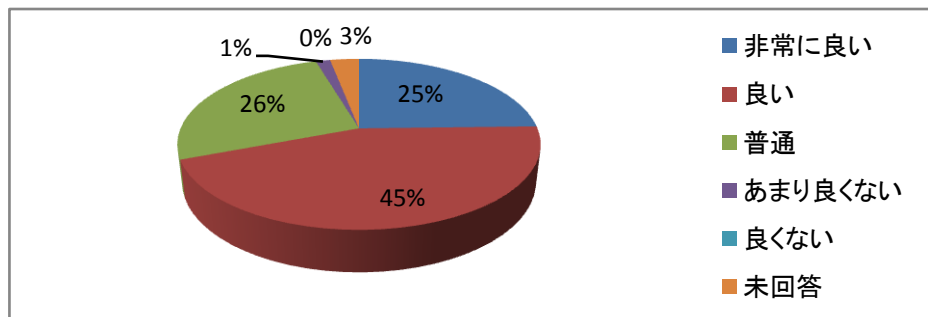


明治維新の状況がよくわかると思います。  
 大変わかりやすい。できれば歴史の教科書・資料集にも同じスタイルで掲載してもらいたいぐらい。

沢山の情報があり、すべてみるのは難しかったが、時間をかけて読んでいきたいと思いました。  
 初めの船出してみませんか。に続く船のアニメーションの映像が楽しげで興味が持てました。  
 10、その他で書いた通り、こちらは過去の累計で、もう既に三回以上コメントを出しているの、今回はコメントを致しません。  
 サイトのアニメーションや、年表が見やすかったです。  
 日本の情勢、世界の情勢などと照らし合わせて見ることができるので見やすい。年表中でクリックして資料を見ることができるのも何の資料かわかりやすいので良い。ただし、上記同じくDjVu形式なのが残念。  
 日本の情勢と世界の情勢がひとめでわかり、大変わかりやすいです。  
 様々な人が関わってきたのだと、久々に振り返りました。  
 わかりやすくてよい。特に人物の写真と内容がわかるページはわかりやすい。やはり字ばかりではなく写真や絵が入ると もっと見たいと思うと思う。  
 昨今の幕末ブームもあって需要も高いと思う  
 どこが起点で、どっちまわりでいったのか、動く年表だけでなく、地図上でもわかると見やすい。年表を動かすと、地図も点滅するとかそういう工夫があると興味を惹く。  
 見てない。有るの知らない。  
 地図が動きそうなのに動かなくて残念でした(こちらの不具合かも)。  
 人物像に「準備中」が多い。簡単な作業で解決すると思いますので、是非画像を追加してください。  
 もともと岩倉使節団には関心があったのでためになりました。  
 とても細かく立体的に組まれていて勉強になりました。  
 用語集も充実しており、中高生でも十分理解できる内容のように感じました。  
 何故岩倉使節団に着目したのか、その理由が分かればもっと楽しめるのではないかと思います。  
 使節団のメンバーがその後の日本の中心になる。研修や教育の重要性を感じます。他国を見る、他国を経験するその事がリーダーの意思を変える。岩倉具視の狙い最高級であると思います。今の官僚の海外視察が物見遊山になってはいませんか？  
 詳しくない分野なのですが興味深く閲覧できました初心者にも優しいと思います  
 学校で習った事が寄り深く実感できた。  
 参考になりました。  
 公文書で信用がある。  
 こちらも構成が明快でわかりやすいと思いました。ただ、コンテンツをクリックするたびにウインドウが開いてしまう点にやや閉口しました。  
 年表がスクロールするのが、早すぎると思う。内容は、少々難しいように思う。

設問6-6:【日露戦争特別展】

非常に良い	16
良い	29
普通	17
あまり良くない	1
良くない	0
未回答	2



100年前の出来事ですね。  
 よく知らなかったので興味深かった  
 詳細を知らなかったので、いろんなことがわかりました。  
 知っていそうであまり知る機会がなかった日露戦争のことが分かりやすく説明してありました。文字も大きく青で見やすかったです。  
 解説がわかりやすく勉強になりました。  
 知合いの戦死した地名が地図になかった。戦争時点の地図と現在の地図の対応関係が判ると興味が一層わく。  
 IIと同じような印象を受けた。ただ、テーマが豊富でおもしろかった。ドラマと関連させているのも良いと思う。  
 しっかり見ないと日露戦争展IIとの違いがわかりませんね。なぜ別になっているのかわかりません。  
 文章が難しく感じられ、写真だけ眺めていました。  
 日露戦争という遠い過去のこともこうして写真を見ると ぐっと親近感がわく。見やすくていいと思います。  
 参考文献一覧がないのはなぜ？  
 「坂の上の雲」の時代背景が分かりやすい  
 写真資料が豊富でおもしろかった。  
 見てない。有るの知らない。  
 乱雑で若干見づらい。IIでは改善されていてよかった。  
 年表と資料が関連付けられていて、流れが分かりやすい  
 内容が充実していたと思います。  
 1)～5)の企画のようにもう少し立体的な応用が試みられているとより発展的な学習につながると思いました。

日露戦争の流れ、何故起こったのか、どういった経過をたどったのかを知るには優れているように思いました。祖先がこの資料に関係しています。改めて当時の人々の戦争勝利への安堵を感じます。近代～現代に及ぼすこの戦争の意味を考えさせられます。明治は遠くではありませんね。

従来の定説以外の詳細を見ることが出来て嬉しい

近代日本史の中で、余り考えた事のなかった戦争だったので、意識を変えさせられる事が多々あった。充実した内容で、とても面白かったです。

歴史が良くわかる。歴史を知る上で、良いイベントなのでPRするべきである。

軍人や政治家以外の人物についても展示があるのが興味深かったです。

一体どのページが「特別展」のページであるのかが(どのページをもって「特別展」といつているのか)一見してわかりにくかったです。それからどのコンテンツも文字が多く、一般の方には近寄りがたいと思われるかもしれません。

日露戦争の流れが丁寧に説明してあり、大変勉強にはなると思った。

設問6-7:【今後の特別展のテーマについて】今後の特別展で取り上げるとしたら、どのようなテーマが良いでしょうか。

植民地政策などがよいと思います。

アジアの植民地化時代から日本の第二次世界大戦までの流れ。なぜ大東亜共栄圏という考えがでてきたのか。なぜアジア諸国はそれに反発できなかったのか。

日露戦争を取り上げたのであれば、日本の最初の対外戦争である日清戦争も取り上げてほしい。

激動の昭和史

予科練の歴史

\* 日清戦争 \* 各戦争時の人々の生活、軍人援護 \* 植民地政策

自由民権運動

日本の古い歴史。

幕末期の史料状況について。

明治維新の頃を特集して欲しいです。

現在話題性のあるものでお願いします。

日本が太平洋戦争に突き進んでいく経緯を詳しく知りたいです。

ミッドウェー海戦を取り上げたように、今後陸軍関係の公開が進めば、それらの内容を先取りした内容があればと思う

辛亥革命から100周年なので、中国革命(と日本の関わり)に関連する特別展はいかがでしょうか？

日中関係の歴史

日清戦争、関東大震災、太平洋戦争時とアジアの状況(インパール、インドネシア、硫黄島、その他)など、身近な人と日本の歴史がクロスした事象が多く日本人に興味をわく。現地の資料が重要。

公文書以外に文化的なテーマをとりあげるのは難しいのでしょうか。個人的には『明六雑誌』『明六社』関連で何か特集していただくと嬉しいです。

これまでの戦争の歴史など。

終戦後の経済について。終戦後に国が借金したお金(国債)が一切紙切れになったと聞いています。徳政令を出したとも聞き、その流れと憲法作成などの関連がわかる内容がぜひにほしいと思います。当時と現在の状況がひじょうに類似していると私は感じています。ぜひお願い致します。

歴史には、興味ありますが、戦争に関する資料より、暮らしぶりなどが知りたいです

公文書による日中交渉はいかがですか? 中国との国としての公式交渉に興味ある方はたくさんいると思います。

アジアとの関係。地域ごとに

朝鮮併合下での日本の統治方針 日本への朝鮮に対する政策

アジアや海外の租界にて暮らしていた日本人たちや、日本における租界のようなところに暮らしていたアジア近辺や外国人たちの記録。

戦争そのものの記録の展示だけでなく、歴史的に見た、識者の視点、軍部、戦没遺族の各視点からみた、公平、客観的なものを望む。

日本の「高邁」な面と「えぐい」面とがひとところで見られるようなテーマがあればおもしろいと思います。

太平洋戦争

極東国際軍事裁判に関するもの

日本の震災の歴史巡

女性の生活の変化を軸にした、テーマ展を企画してください。

1. なかなか難しいテーマではありますが、現在の東アジア情勢を鑑み、日中・日韓の歴史を一般にわかりやすく伝える企画を作ることができないでしょうか。2. 特定の人物(かなり限られてきますが…)に焦点をあてたものが増えると興味が広がるきっかけになりそうです。それが著名な人物でなくとも伝記的に該当人物の経歴がうかびあがってくると興味をもって資料にあたることのできるのではないかと思います。

日韓の歴史。(1920年代～現代にかけて)

何とんでも北方領土、尖閣諸島の問題についての資料を開示すべきではないでしょうか。もしあるのであれば、ぜひ判断材料として特別展で取り上げて頂きたいです。

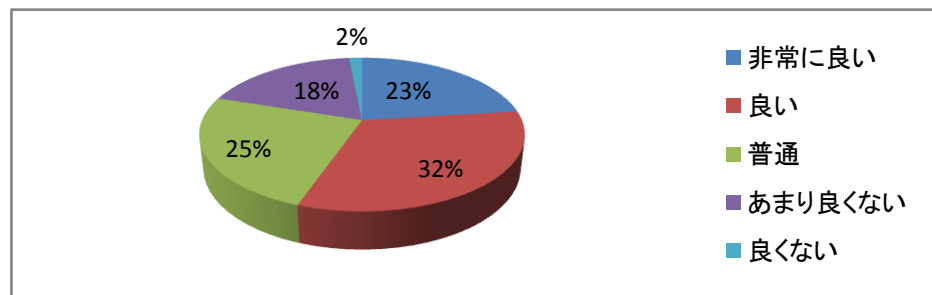
政治家(屋)なる者たちの成り立ちや経緯、現状な等々を知りたい。

先程述べたようにアジア各地の日本人の租界地について興味があります。特に上海。他国の租界地も知りたい。本土がどうかかわったか。歴史の背景がわかるような気がします。
文化関連資料の充実をお願いします。
アジア・太平洋戦争期の対アジア外交のありよう、など。
日中関係に関するものなどを希望します。
大戦末期の兵器開発状況
どれもすさまじく丁寧な作りですが、どの程度活用されているのかと思いました。高校の先生などはご存じかもしれませんが、NDLのデジタルアーカイブギャラリー程度のものだと思い、いままで利用していませんでした。海外の留学生などが利用するのにも、非常によいと思うのに、宣伝が不足しているような気がいたしました。
アジアと日本の本当の関係を知る手がかりを知りたい。各国と現在の関係になった由縁を歴史的に考えたい。
太平洋戦争に関するテーマをより多く設け、戦争の悲惨さを後世により多く残せるようにしてもらえたらと思います。
現在の日本国領土の確定に関する資料の特集
公職選挙の歴史
事実認識のためにもソ連参戦の状況
他の国との農業・産業等の協力関係の歴史。
鉄道展(満州、台湾を含む)。日清戦争以降の賠償金活用による二十世紀初頭の日本経済発展史。
日中戦争についての展示を期待しています。
日本の植民地支配について。
満洲の植民地開拓
欧州各国との外交記録公文書内に含まれる写真
日中戦争、アジア太平洋戦争に関するテーマを期待します。
口コミをかける所。
日中戦争・太平洋戦争などの公文書

設問7:【特集(スペシャル)ページ】これまでに次の特集ページを設けました。それぞれご覧いただき、内容に関する評価をご記入ください。

設問7-1:【ようこそ、「アジ歴」の時間旅行へ！ 紀香の「アジ歴」スペシャルコーナー】

非常に良い	15
良い	21
普通	16
あまり良くない	12
良くない	1



とても見やすいです。
なぜ彼女なのか疑問だった
紀香さんが説明するので、楽しく見るのが、できます。
好みの問題ですが・・・私はあまり好きではありません。
なくてもいいコーナーだと思います。
昭和初期の国民生活や杉原千畝など、身近な話題をピアノ演奏に乗せて藤原紀香がわかりやすく案内してくれて気に入っているコーナーです。耳の不自由な人のために字幕があればと思います。
面白いです。特によかったのは、(生活・文化)のところで、アジ歴で扱うのは、政治や外交だけではないということを感じたからです。特に海水浴のトピックが現在の自分の経験と比較出来るので面白かったです。
藤原紀香さんが紹介されていて、華やかに思います。
内容は良いが、なぜ紀香なのかよく分からなかった。
藤原紀香さんはあまり合っていないような気がする
紀香さんの清楚な感じがアジ歴のイメージにマッチしていいと思います。
ターゲット層が分かりづらい
紀香さんがでてきて親近感というより ちょっと違和感を感じる。どちらかといえば歴史の専門家とかジャーナリストがでて話したほうがぐんと信頼感というか説得性が高まる。このHPで女優をもとめるものでしょうか？
内容はとてもおもしろいし、明治時代の時刻表や旅にかかる時間とか、まさに知りたい時間旅行的知識と情報の宝庫ですばらしい。ただ藤原紀香がいらない。このタレントが悪いわけではなく、歴史に興味がある者にとっては、歴史資料の上に、誰かが、かぶさっていると、案内人というよりは、妨害に見える。それだけで不愉快。
Movieを見たら、思わず他の記事も読んでしまった。
藤原紀香という人選に疑問。出演料が高いイメージがある。芸能人を使う意味があるのでしょうか。
藤原紀香だけでなく、テーマごと何人かのタレント(男女問わず)を使ってはどうかと思う。
楽しい雰囲気のコナーでよかったです。
いろいろ意見する人もいるかもしれませんが、個人的には違和感なく見ることができました。
映像を使っているためよりわかりやすかったです。

内容については問題が無いと思うのですが、華やかさよりも「重厚さ」が必要だと思いました。

内容に関しては非常に良い。ナビゲーターの紀香さんもいいのですが、囲み毎に紀香さんがあるのはちょっと多過ぎ。

「写真週報」の中のテーマをどれか取り上げて掘り下げる企画もいいと思います。

一般にアピールするには女優さんを起用して派手にした方が良いというご判断だたのでしょうけれど、一般の方であっても、このサイトに興味を持つような方に、紀香さんがアピールするとはあまり考えられないように思われます。

去年もあるが分かりやすくキャラクターも国際的に貢献している方を使ってよいと思う

なぜ紀香なのか？

なぜ藤原紀香などをPRに使わねばならないのか、理解に苦しみます。経費の無駄遣い以外の何物でもない。トップページも非常に不愉快です。

紀香さんがアジアへ行っての番組を見ているが、とても分りやすく興味深い。

つまらない

ムービーですが、重くなく快適に見れたと思います。

「生活・文化」というジャンルは、初学者でも親しみやすいと思う。

内容が理解しやすく便利である。楽しく勉強できる。

藤原紀香さんをイメージキャラクターにする意味がわからない。

なぜ藤原紀香を出すのか分からない。

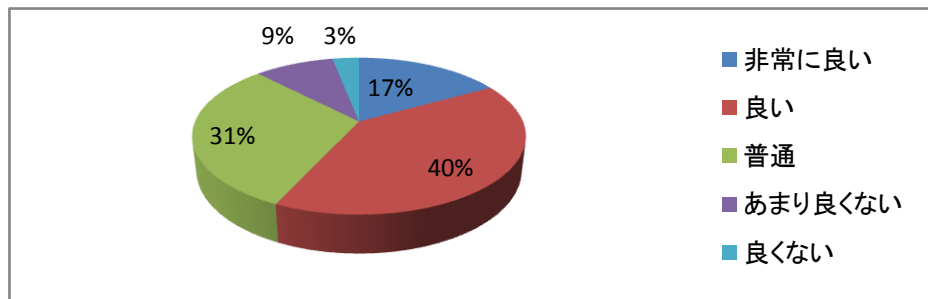
ページごとに、藤原紀香が出てくるのは、必要ないと思う。

やはり総じて、「この事件についてはこの文書が残っています」というコンテンツの作り方で、ページの閲覧者に「この文書やこの史料群を見れば、こういうことがわかりそうだ」という発想に至らしめるような作りにはなっていないように感じました。

眼をひきやすく、工夫されていたので評価される。

設問7-2:【アジ歴トピックス】

非常に良い	11
良い	26
普通	20
あまり良くない	6
良くない	2



とてもわかりやすいのでよいですね。

文字が読みにくい

ピンク色などやわらかい色合いもあると、もっと興味をそそられます。

わかりづらいので、もっと完結にして欲しいです。

誰でもが興味のあるキーワードが並んでいて、項目のタブが3つでわかりやすくできていると思います。

アジ歴コンサイスから名称が変わって、内容項目とマッチした

デザインがよくない。テキストと史料へのリンクしかない。もう少し写真や図像を取り入れて、分かりやすくするべき。

自分の興味以外の資料に触れられる機会になり、良いと思います。

興味をひく内容が多かった。実際に資料を見るとより深く理解できるトピックスが多い。

読み物として面白いと思う

内容はとてもいいと思う。このままでも十分いいと思います。

アジ歴トピックスの欄がどこにあるのかわからない……。「トピックスを更新しました」のお知らせから飛べるのかと思ったらそこからもいけない。なるべくすべての情報にリンクが張ってあるといいと思います。

字体が見づらい。

貴重な資料に簡単にアクセスできるのが良い

使う際に参考になりそうだった。

アジ歴トピックスがどこにあるか分かりません。

膨大な資料があります。圧倒されます。このホームページが教授役になってテーマを設けてネット講座ができませんか。

質実剛健(武骨)な感じでいいと思います。フォントやレイアウト、ページ内リンクの貼り方などを工夫すると、なお使いやすくなるように思われます。また、トップページでの扱いがもっとわかりやすくなるとなるといいと思います。

不満は全くない

制度、用語はもう少し細分化して項目を増やして欲しい

もっと映像を利用してはどうか。

取り上げている用語が少なすぎて意味なし

自分が調べたいことだけでなく、より広い視野をもつことができるという点でよいと思います。

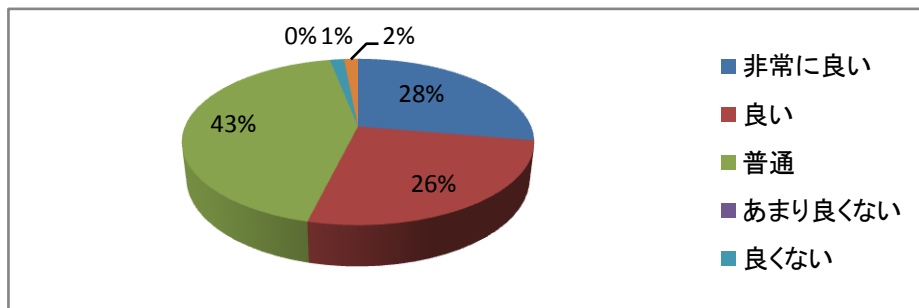
わかりやすく歴史の勉強が楽しくなる。

トピックスとしては適切であると思います。

よく分からない。  
 歴史資料を気軽な気持ちで閲覧する時にちょうど良かった。  
 意味がわからない。  
 長いことアジ歴にお世話になっていますが、初めて拝見しました。ここをクリックするとウインドウが開くことも知りませんでした。内容は、「解説」を読んでふーんと思う程度で、画像を閲覧したいという気持ちまでは起こりませんでした。文字が多いため、退屈な印象を受けたのかもしれませんが。

設問7-3:【社会科授業用資料リスト】

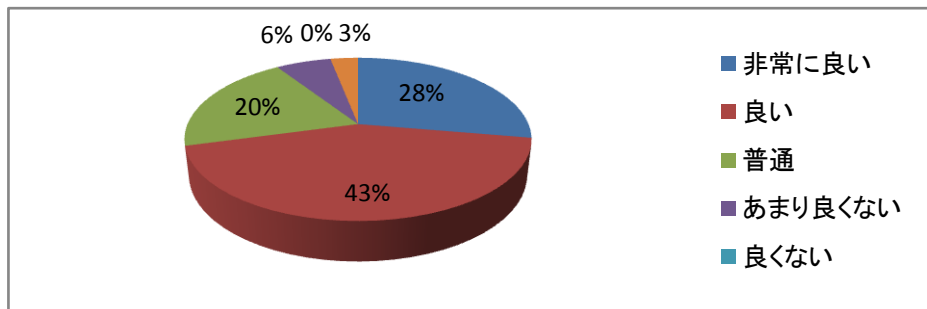
非常に良い	18
良い	17
普通	28
あまり良くない	0
良くない	1
未回答	1



授業をする立場ではないので、便利かどうかよく分からない。  
 子どもたちには歴史を知るいい資料だと思う  
 PDFファイルではなく、直接史料を検索できる形にした方が良い  
 学生の頃、年代と出来事のみで詳しいことは何も教えてもらっていないので、このような資料で教えてもらえれば、もっと、子どもたちが興味が沸くと思いました。  
 社会科授業用だけではなく、レファレンスコードとの対応を示すリストは一般の人にも使い勝手が良いのではと思います。  
 ここだけが画像データにリンクしていない。一覧表だとは思いますが、例示としてもう工夫ほしい  
 教科書だけではなく、画像とはいえ生の史料を見ることは、間違いなく教育的効果がある。私自身、学部生の頃、生の史料に触れることで、歴史と生身の感覚で向き合うことが出来た。忙しい先生方のために、このようなリストを作成して下さったことは、高く評価できる。  
 私は教員ではないので利用したことはありませんが、親切なサービスなのではないかと感じました。  
 資料として非常に良いが、そのままでは生徒が理解しにくい。教師の手が多少加えられる必要がある。しかし教師のための学習用としては非常に良いと思う。  
 今日わく無いようでした。  
 社会科には思想的に偏った授業も多いので、こういう一覧にある資料を先生が活用してくれるとうれしいが、まずは社会科の先生にアジ歴を知ってもらうことが先かと思う  
 検索したいものが歴史の時系列になっているので取り出したい資料がすぐに出てくると思うのでいいと思う。ただ、資料の数が妥当かどうかは専門家ではないのでよく分からない。資料として出すのはいいが 生徒が関心持つものであることが望ましいので写真や資料の数自体がより増えればいいと思う。  
 記してあるレファレンスコードをクリックしたら資料に飛べるようにリンク付けしてあると便利では。  
 リスト中の資料名と資料の画像データをリンクさせたらどうか  
 資料リストは役にたちそうだと思います。  
 とてもよい試みだと思います。  
 学校の授業で、子ども達が我が国の歴史に触れる為にも素晴らしいものだと思います。  
 教科書に連動した・・・全国の学校の指導計画＝何月にどんな歴史学習をしているかを調べトピックスと合わせるとページ訪問者も増えると思います。  
 試みとしてはとてもよいですが、データだけ提示して、あとは画像を自分で探せというのは、閲覧する方にとってとても労力がかかって大変です。データベースのよいところは何も考えなくても、労力を使わなくても大量のデータをすばやく入手できる場所にあると思います。お手数ですが、資料リストにリンクを張って画像を提示してください(サムネイル画像からとべるように)。さらにその画像に他の関連データベースのリンクを張ってください。  
 社会科の先生にはとっても便利だと思います。できれば、リンク先にすぐPDFをおくのではなく、PDFが何を含むのか解説するページでワンクッション置いていただくと、不用意にクリックして、PDFファイルをダウンロードしてしまう、ということがなくなると思います。  
 私自身も教職の勉強などをしたが私の時にこういうのがあれば必ず使っていたと思う。  
 太平洋戦時中の資料を入れるべき  
 教員の立場で考えてみると使えるかと思います。自分も使っていきたいです。  
 便利だと思う。  
 中学、高校で利用すべきだとも思います。  
 社会科授業でなくても興味深く、歴史に関心のある人に広く紹介したいリストです。  
 リストから画像にアクセスできるといいと思う。  
 利用したことはないが、学校教育のことを考えるとあった方がよい。

設問7-4:【終戦に関するアジア歴史資料センター公開資料のご紹介】

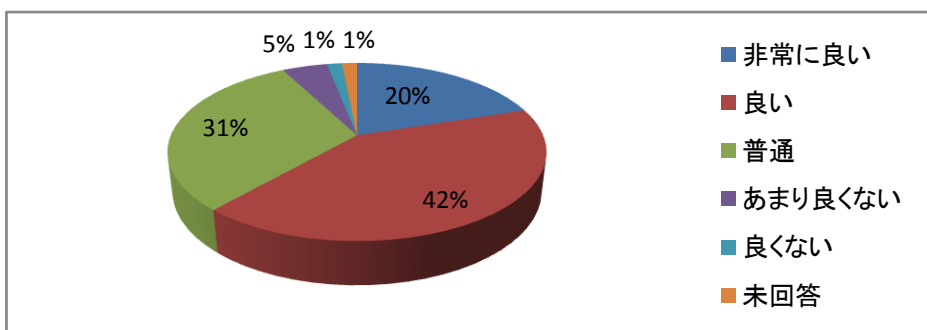
非常に良い	18
良い	28
普通	13
あまり良くない	4
良くない	0
未回答	2



御聖断の経緯がくわしく知りたいですね。  
 今まであまり知られていないので、今後どんどん公開してほしい。  
 いろいろ考えさせられた  
 もう少し、写真や暖かい色合いがあるといいです。  
 スクロールダウンしないとどの資料があるかわからないので、もっと判りやすくして欲しいです。  
 青を基調にしたページで文字の大きさも適当で見やすく、資料の紹介も連動しているのでわかりやすかった。  
 片手間で作った感がある。最近鈴木多聞さんの研究が公刊されたように、終戦史はホットなテーマだと思う。もう少し他の特別展の水準に合わせた企画にするべき。  
 テーマごとにまとめてくださるのは非常にわかりやすいです。サイトが縦に長いので、スクロールが少し手間に感じました。  
 実際に広島原爆資料館まで行って見たものも多く、それがインターネットですぐ見れるのはうれしい。社会科資料として大いに活用できる。  
 ひじょうに大切なことがたくさん掲載されています。これは必読です。  
 ハル・ノートが見られるのはうれしいです。感慨深いものがあります。  
 写真をクリックすると内容がすぐ見れていいと思う。  
 -英語文書には日本語訳がついていると親切。-英語文書も、公文書の原本写真は文字が見ずらくてよく見えないので、英語で全部書き抜いてあると親切。  
 こういう情報はもっとこれからもあると嬉しいです。  
 原文だけではなく、解説も添えられていればもっと楽しめると思います。興味を持っている方も多いと思いますので。  
 文書資料については少々骨が折れます。図示や写真は役に立ちます。  
 言うことありません。貴重な史料を紹介してくれる、有用なページだと思います。  
 知らない世代に伝えることができよと感じる。  
 終戦に関しては、ナゾが多い。アジアに散っていった日本人に関しての詳しい資料が見たい。  
 充実していると思います。  
 終戦の状況は話には聞かすが、詳しく知らなかったのととても印象に残る。この大変な状況を知って、今の社会を反省する必要があると思った。若い人に知らせて勉強させるべき。  
 公文書なので仕方がないが、よく知られているものばかりで、少し物足りない。もう少し知られざる部分が出せないかと思いますが、中学、高校生には大変参考になります。  
 画像のイメージ(「クリックすると資料画像が開きます」の所)があるのが良い。  
 よいのですが、全体にあまりにコーナーが多すぎませんか？至れりつくせりなのはわかりませんが、もうすこしコンテンツを整理したほうがよいと思います。  
 終戦に関する・・・であれば、開戦時や戦中に関する資料は不要  
 文書だけでなく、『写真週報』も織り交ぜてあり、楽しく拝見しました。

設問7-5:【国内所在資料調査報告書】

非常に良い	13
良い	27
普通	20
あまり良くない	3
良くない	1
未回答	1



一般人の閲覧が難しいところが多いのが残念ですね。  
 今後も引き続き、情報収集してほしい。  
 PDFは便利でいいと思います。  
 アジ歴の資料だけではなく他が所蔵している資料も公開されていて資料の幅が広がり利用しやすくなるのではと思います。

私の周りでは、あまり評判がよくない。史料を収集する際に、この報告書を利用したという声は聞いたことないし、私自身使うことはないと思う。
それほど活用することはないが、あると助かると思う。
文字が多く、興味がないと読まないと思います。
表示方法がわかりにくい
個人的にはあまり利用しませんが、研究機関にとっては便利だと思います
わかりやすくしてほしいと思います。
各機関の資料センターにすぐ飛べるようにリンクが張ってあると便利。
資料検索に役にたつのでいいと思います。
説明文の文字が大きくて見やすい
研究者としてはとても有益な資料でした。このアンケートで初めて知り、ありがたく思っています。
研究者の方にとっては、参考になるんじゃないかと思いますが、一般の方にとっては？と感じる部分も多くあるのではないのでしょうか。
小生のレベルでは高度すぎます。存在を知っておく程度になりました。いつか役に立つでしょうか。
貴重なまとめだと思います。
資料探しの一助となります全文検索機能が欲しいです
価値がある人にはあると思いますが、自分はあまり使わないかなということで、普通の評価です。
詳しい内容で、利用するのに助かると思う。
便利です。
よく調べてあり、手軽な資料館リストとしてほかの方々にも紹介しています。
リンクがあるのでまあ使いやすい。
全ての都道府県の調査を望む。海外の所蔵資料調査も行って欲しい。
特徴などが記載されていないと、利用のしようがありません。

設問7-6:【今後の特集ページのテーマ】今後の特集ページ作成については、どのようなテーマが良いでしょうか。

省令の内容がほしいですね。
タレントを活用するよりも、内容充実に重きをおいてもいいのでは。・2次大戦戦時中の日本の軍展開史、アジア諸国の抵抗史。
戦時下の女性の人権について
今の子どもたちに昭和をわかりやすく伝えられるような特集
近代日本史、防衛問題
領土問題に関する史料検索特集
海軍の歴史
平和。
日清戦争について
憲法が作られた過程がわかるような特集があれば嬉しいです。
日本の植民地支配について
歴史認識に関わる難しい問題もあると思うが、戦争、外交等アジアと日本との関係がわかるテーマを、と思う
一般人や初学者を明確に対象にしたインターネット特別展と違い、特集は、一体誰に向けて発信しているのか、方向性が見えません。もう少し、中で議論したらどうですか？
アジ歴資料の活用法の紹介
地方の時代なので、地方の歴史、地誌などが興味がわく。
戦争ものが望ましい
明るい話題が欲しいです。
個人的に本土決戦に非常に興味があるので、それに関するテーマがあるとうれしい
日本が朝鮮やドイツのように分割されずに済んだ背景と人の関係を事実に基づいて特別展を開催してほしい。
沖縄が日本になる時の公式文書や、沖縄の米軍基地に関する公式交渉の文書など 沖縄の歴史について知ってみたい
憲兵とか、国家治安維持法とか、そういった、現在にはない制度の、戦前戦中の資料を扱ったら、おもしろいかと思います。
迂闊にも当方、見逃して居りましたが、もう少し、アピールして下さい大事な、日本国の後世に残すべき資料です！
戦後日本の復興について
明治の鹿鳴館時代の貴重文書を集めてほしいです。
極東国際軍事裁判に関するもの
研究者向け、学校教材向け、歴史ファン向け、キッズ向けなどいくつかグループに分けたページの組み方が可能になると、もう少し利便性が高まるのではないかと思います。いまのままでは、誰に照準を設定しているのかが少しわかりにくいようにも思います。もちろん、大変有益で見やすいのですが、そうした前提のうえで、上げてあげるとすればです。
春休み企画として、小中高生とレベル分けにしてクイズを出題する等歴史に興味を持てる特集がいいと思います。

やはり明治維新を特集して頂きたいです。以前の龍馬ブーム同様、近代日本の夜明けに興味をお持ちの方が多いいと思いますので。
インターネット特別展と特集ページには、別建てにするほどの差がないように思われます。アジ歴の最大の柱としての史料検索を中心に据え、これをトップページの中心に配し、史料という巨大な岩山にとりつく島として、史料を使うとこのようなものが見えてくるということの紹介、すなわち特別展、特集ページなど(紀香さんのもの含む)を、それぞれに同じ扱い(バナー画像は同じ大きさと並置する)でリンクしてはいかがでしょうか。
研究者向けの機能紹介などを希望します。
第二次大戦の戦略物資輸送について
中国・韓国・日本の三つ巴の関係は決して良好とはいえない。何故そうなったのか歴史的に紐解いてほしい。
特集はいらないと思う。
自分が教育学専門なので、教育史についての資料をまとめたものがあるといいかと思えます。
連合軍の占領政策
軍隊の食事メニュー、レシピも含め再現した料理
日本の農家等の産業別の状況の特集。
特別展と同じで、鉄道、賠償金活用に関するもの。
各史料の詳細な解題や来歴に関する特集ページ。海外の類似機関との共同企画による特集ページ。
特集ページを作成するより、構造をシンプルに維持していくのがのぞましい。
韓国に関するものも、もっと取り上げたらいいと思う。
公文書内に見る 各地域・施設等の地図・見取り図
歴史家がどのように史料を閲覧し、歴史像を組み立てていっているのかを紹介する特集はいかがでしょうか。周知の出来事の確認のために史料を閲覧することも重要ですが、むしろ逆に、史料から新たな出来事が発見されるプロセスのその材料をアジ歴は提供しているのだ、ということを広く印象付けるとよいのではないかと思います。

#### 設問8:【資料調査】

設問8-1:【インターネット公開して欲しい資料群】まだ電子化されていない資料群の中で、早くインターネット公開して欲しい資料は何ですか。

領事館の登記簿などですね。
宮内庁資料
国立公文書館「公文録」防衛省防衛研究所「陸軍一般史料 戦役」
防衛科学研究所の史料
電子化されていない資料がなにかよくわかりません。ホームページのどこかで紹介されているのでしょうか。
陸軍関係(軍・師団レベル)
外交史料館の戦後公開された外交文書。
・各地の地誌・江戸時代の歴史記述・アジア各地で活躍した日本人の記録、墓
希少な資料全部希望
海軍一般史料③大東亜戦争など、自分の父親が従軍していた時代の資料を期待しています。まだ、公開予定もないようですが、公開される日を待っております。
昭和18年版の野戦築城教範
外務省外交史料館の資料は早めにすべて公開してほしい。
玉音放送のもとになる原稿とか、オリジナルの音声とか。紙資料に限らず、動画資料もあげてほしい。
日本、露国、それぞれの戦時の、国情、人情、戦闘精神(武士道等)
外交関係の貴重資料を見たいです。
極東国際軍事裁判に関するもの
今未解決の問題、竹島であれ尖閣、北方領土に関する資料は、いち早く展示して頂きたいです。
特にこれを早くとかはありません。私にとっては順次公開して頂ければうれしいです。
今回の東北関東大震災が起これば現物の資料の焼失も考えられます。当センターの活躍は重要です。この際「震災」特集もお考えになったらどうでしょうか？関東大震災ほか。諸外国と震災との関係など。
個人的には外務省資料の細かいところまでの完備を望んでおります。
歴史と並行したアジアの文化に関する資料がほしい。例えば、中国歴史に閉口したの骨董の歴史や資料などあるとよいと感じる。
『万国公法』の漢語原文。
防衛研究所のマル5計画関連や兵器開発資料
日本がアジア各国に対して行なった様々な弾圧の歴史。なぜ日本人がアジアに嫌われているかを理解したい。(特に中国)又、日本が弾圧された史実も。
防衛省防衛研究所の関係書類。特に陸、海軍一般史料の大東亜戦争関係資料全般。関係者が居なくなると検証できなくなるので一刻も早く公開してほしい。
海軍諸例則、内令
未公開としてしている資料も公開すべきと考えます。極めて個人的な情報もあると思いますが、可能な限り公開すべきと考えます。(興味本位の意味ではありませんが)
造船技術とか産業の歴史。他国のと技術提携の歴史。
東京大学経済学部図書館にある「横浜正金銀行資料」。是非、お願いします。

国立国会図書館憲政資料室の資料の電子化公開はぜひしていただきたいです。
旧通信省関係資料、通信公報、官報、GHQ資料、戦後から1950年代位までの各省庁の資料
公開の進捗が早いので、満足しています。
防衛省防衛研究所のなかの「陸軍一般史料」-「中央」-「終戦処理」。
戦時中に満洲書籍配給が出していた満配月報という冊子があるのですが、所蔵が中国国家図書館とLCのみ（OPACには出ない）。入手できないでしょうか…。
戦闘詳報
一部の勅令など

設問8-2:【応用事例】センターを利用して役立てている応用事例があれば、お教えてください。

外交文書の研究。
現在でも大変充実しています。これからもがんばってください。
趣味の範囲ですが、勉強したいという気持ちが大きくなりました
地域の青少年にアジアの歴史を伝える資料館のリーフレットを作成した。
大学講義での利用
仕事で歴史を知りたいときがあり利用しています。
よく思いついたら調べ物をしています。
歴史物のドラマをみていて歴史がよくわからない時に参考にしています。
大学院のゼミで、ある外交官の回顧録をテキストにした際、担当した箇所に関係する、アジ歴の史料を必ず使うことという決まりを先生が設けたことがあった。回顧談を裏付けたり、逆に、回顧録に書いてない事実があったりして、非常に新鮮な経験でした。
日本史の知識を得るために利用しております。
お祖父さんの日露戦争従軍記とセンターの記事をマッチングして、お祖父さんの戦争を体験する。
まだ学生であるが、社会科資料としての授業での活用の方法を考え、模擬授業などで活用している。
外人へ日本を紹介する通訳ガイドになりたくて勉強しています。歴史を説明する場合に写真があるとわかりやすいと思います。そういうときに役立てられたらいいなおもっています。まだ勉強中の身ではありますが…
今後のために、これからも検索や展示展みせていただきます。
画像を使って、オリジナルグッズを製作しています。例えば、当時の地図(日露艦船配置図)がレトロでかわいいのでブックカバーを作りました。
私はアジア専門ではないですが、アジア関係の研究者はよく資料をつかっているとききました。
大学の授業で言及した事項について、実際の公文書を見せると学生の実感もずいぶんちがうようですので、ごくたまに使うことはあります。
ゼミの研究に役立てています。(近代西洋史研究ゼミですが各国の研究も行っています。)
写真や図版がネットお上にあることで机上博物館として利用したい。ドラマ「坂の上の雲」「蒼穹の昴」など少し確認したいときに利用。
研究発表の資料
年表検索があったが、個々を調べる時にとても分りやすかった。
歴史の勉強を、深くするために活用させていただいています。
生涯学習インストラクターとして、生涯学習の参考に役立てている。
清末の日本外交資料。
論文作成時に、レファレンスコードを記載し、読者が自身で調べることができるようキッカケを作っている。
「第二次大戦中の中国における日本軍接収図書の研究」(大阪市立大学大学院創造都市研究科博士論文、2010年11月提出)の執筆に大いに活用した。
応用ではないですが、日常的に写真や資料の拝見は趣味でさせていただいています。
論文執筆の一次資料として使用している

設問9:【WEB広告及び講演会に対する評価について】アジ歴では、アジ歴ユーザーの増加を図るため、WEB広告(リスティング広告、バナー広告等)や大学、高校等での講演会を行っていますが、これについてご意見等がありましたら、お考えをお聞かせください。

財源確保としてとてもいいことだと思います。
どんどん進めてもらいたい。特にアジアの歴史は学校教育で漏れているのが現状。近現代は現代社会を理解する上でも必須なのであるから、高校などへでセンター所収の資料・学生の自由研究テーマの提示など、積極的に働きかけをしたほうがいいと思います。
多くの資料公開ができるようになれば、自然と利用者は増加すると思うので、早急な資料公開の方に費用をかけて欲しい。
大変いい試みだと思うので、地道に続けて欲しい。
大いにやって欲しい。
アジ歴に興味・関心を持ちそうな公文書館や図書館郷土資料等のユーザーを対象とした講演会をやって欲しい。特にアジ歴の利用率を上げる必要があれば、東京まで史料を見に行くことが難しい地方のユーザーを念頭に置いた催しが有効である。地方の公文書館・図書館と連携してイベントを実施して欲しい。
公民館などで、一般向けにも講演会があると、いいです。
学校での講演会はとてもいいと思います。

<p>一般のユーザーを増やしたいということでしたら、いろいろ手を打たれるとよろしいのではないのでしょうか。実際には歴史研究者にもアジ歴の便利さを知らない人が多いように思われます。学会等を通じて訴えていくことも必要ではないかと思えます。講演会情報はぜひお知らせください。</p>
<p>大学や高校だけではなく地区センターなどでの講演会を希望します。</p>
<p>WEB広告よりも、TVで広報した方がいい。たとえば、NHKでは歴史特集をよく行うが、番組の最後に当センターの活動を宣伝するべき。勿論、NHKは公営放送なのでスポンサーを取らないのは承知の上である。しかし、当センターも営利団体ではない以上、営利企業の広告とは、扱いが違うのではないか。</p>
<p>価値ある資料をネット上で見られることは大変すばらしいことだと思います。多くの方に知ってもらえるよう、講演会や広告等の普及活動を期待しております。</p>
<p>対象は若者でなく、老人ではないか。大学、高校等の講演会より、地域の自治会や自治体経由で50歳以上の老人を対象に歴史検索のやり方を教えた方が効果があるのではないか。NHKに何らかの形で取り上げさせればどうか。</p>
<p>最近まで認知していなかったもので、広報活動があまり盛んではないと思った。大学図書館で、初めに図書館の利用方法を学ぶが、その際アジ歴も紹介していただけたらとっと早く知ることができた。神戸大学の図書館では教えてもらえなかった。</p>
<p>様々な人に情報を知ってもらう為にも良い取り組みだと思います。</p>
<p>大学、高校での公演は、歴史に興味を持ってもらうために有意義な活動だと思います。ただ、Web広告は不要ではないでしょうか？アジ歴は、単に知名度を上げることは考えず、目的を持って調べている人が、検索エンジンでヒットするように、ページのキーワードを工夫する程度で良いと思います。</p>
<p>通信制の学生の場合、特にネットで資料が入手できると助かるので、通信制の学生へのアピールがあると良いと思う。</p>
<p>このようなすばらしい資料をもし必要として見に行こうとしたら、お金と時間を費やさないとはいけません。それが、自宅に居ながらにして資料を検索し、分析できることはまさに奇跡に等しいと思います。また、こういうサイトがあること事態、知らないと思います。多くの方に知らしめることは大切なことであり、日本人の誇りだと考えますので、もっともっと宣伝してほしいと思います。</p>
<p>とてもいいことだと思います。このセンターをまずは広く、浅くでもいいので人々に知らせることが大切です。</p>
<p>先日、魔女裁判の資料無料公開、と海外のデータベースが告知していたのがmixiで取り上げられていた。アジ歴も、mixiなどのトピックに、たとえば「坂の上の雲」の元になる〇〇を公開、とかいった告知をもっとしていいと思う。アジ歴自体を知らない人たちを切り開いたほうがいい。</p>
<p>経済的なことが有るので、何とも言えませんが、出来れば、大いに宣伝お願い致します。</p>
<p>広告費を掛けている割に、トップページのデザインがいまいちです。これでは歴史に無関心な若者を引き込めないかもしれません。トップが肝心なので、リニューアルに期待しています。若者が歴史を学ぶきっかけを作ってほしいです。</p>
<p>どんどんリンクを貼って、利用者を増やして欲しいです。大学の研究室のHPにリンクを貼ると良いと思います。</p>
<p>webだけではなく、新聞などでももっと広報してほしいと思います。</p>
<p>広告や講演を行っていることを知らなかった。PR不足ではないか。</p>
<p>とてもよいことだと思います。ただ、必要以上に一般利用者におもねることもないように思います。バランスが難しいところではあります。</p>
<p>講演会が行われていることを知りませんでした。</p>
<p>一度だけリスティング広告を見かけました。私はかなりリスティング、バナーには詳しいのですが、ヒットしてアジ歴の広告があったのを見て、「もっと効果的なワードを選定すればいいのにな」と感じました。</p>
<p>歴史に興味が無い若者が増えている気がします。自分達の時と比べると今の学校の授業数が少ない。(私事で申し訳ないのですが、我が家の次男は特に歴史が嫌いです。「賢人は歴史に学ぶ」のだよと言っても届きません)もっと歴史に興味を持ってもらうきっかけとなればと思うのでどんどんやってほしいです。</p>
<p>若者には近代史現代史をもっと知らせたい。大いにやってほしい。古代史中世史等と比較し多岐にわたるのでカリキュラム上も重点化＝授業数の増加を図るべきだと思います。その意味で高校大学の指導者に必要ですね。</p>
<p>WEB広告や講演会は利用者の増加させるだけではなく、社会貢献の一環にもなると思う。専門学校などへも講演して行ったりするのもよいと思う。</p>
<p>ホームページ上へのバナー広告は、どんどん進めるべきだと思う。都道府県の広告(歴史に関係ある)も必要。</p>
<p>資料公開の予算が減らない程度にするなら良い</p>
<p>より認知度を高めるために必要なことだと思います。積極的に行って欲しいです。</p>
<p>実際の広告や講演会に接触したことがないので分からないが、一般論としてはユーザ開拓は積極的に行なうべきだと考える。</p>
<p>定期的なPRは必要です。継続的に実施すべきだと思います。</p>
<p>生徒・学生にアジアのや日本の歴史を身近な方法で提供して行くことは、非常に良いことだと思う。生徒や学生にインターネットで利用できるこのシステムをもっとPRするべきである。</p>
<p>広告ではタレントの起用より、アジ歴資料を見ることで具体的に何がわかるのかをアピールするのいいと思います。広告で資料を見ることで答えのわかる問いを出し、その答えをアジ歴サイトで説明する形をとるなどの方法がありそうです。</p>
<p>このような取り組みは、わが国の歴史教育のためにも有用であり、教員ばかりではなく生徒、学生への認知度を高めて頂きたい。資料を実際に調べて考察する楽しさを伝えて頂きたい。</p>
<p>大学2回生の基礎ゼミで、アジ歴を何度も紹介しています。資料室の入り口に藤原紀香さんのポスターが貼ってありますが、イメージがアジ歴と結びつかないので、学生もアジ歴のポスターと気づかないようです。</p>

良いと思います。が、少し効率が悪い印象を受けます。できるできないは別として、例えば興味さえあれば教科書からアジ歴にアクセスできるようにするといった仕組みやユーザー行動の導線を整備すべきだと考えます。

公共図書館や公民館で、広く一般に向けた講演も考えてほしい。

残念ながら拝見したことがございません。ですが、重要なことだと思います。

講演会を実施していることを始めて知ったので、実施していることを広くごほうごすること。

設問10:【その他】その他、ご意見・ご要望等がありましたらご記入ください。

センターの存在価値は今後高まるので、独立行政法人改革などで整理されてしまわぬよう頑張ってもらいたい。

ニュースレターを購読したいが、アウトLOOKやライブメールなどのメールソフトを利用していないので、購読したくても申し込みができない。メールソフト利用者以外でも、申し込みができるようにしてほしい。

今まで歴史には興味がなかったのですが、定年後、様々な本を読み興味が出てきました。これからも利用させてもらいます。

とにかく、デジタル化の進捗状況が解るものがほしい。

仕事で利用していましたが、どんどん興味が沸き、個人の学習としても利用しています。歴史に詳しくないものが見ても、わかりやすい説明などがあればいいなと思います。

せっかく優良な公的史料を公開されているから、研究者を始めとした多くの人々に利用されるのが理想である。大学が入試や講義で利用したり、公文書館・図書館(当たり前だが図書館の方が入館者数が多く、人目に触れる)で目にするようになれば、高校生等の若年層がアジ歴の存在を知ることになると思う。ポスターを配布するだけではダメで、ネット検索するシステムを全国に巡回させたり、著名人の講演会を開催するなどの取り組みも必要だと思う。何より、公文書館が存在しない、あるいは似て非なる施設しかない地方では利用意識が低い、逆に言えば新たなユーザーを獲得できる可能性が高い。

私は所属校の校務が忙しく、なかなか資料収集に出かけることができません。そのような私でも研究を続けられるのは、アジ歴のおかげです。アジ歴の今後の益々の発展を期待しております。どうぞよろしく願い申し上げます

アジ歴の存在を知らない人が多いのではと思います。一般の人にも知ってもらうために新聞などでの広報活動が必要ではないでしょうか。

毎年、モニターで答えているが、過去のインターネット企画展、全てに回答を強いるのはやめて欲しい。ものによっては、三回以上回答したものもある。企画展が増えれば(それ自体は大歓迎)増えるほど、回答する数が増える。数ある企画展から数点選んで答えるようにして欲しい。今回、三回以上答えた、企画については、コメント欄の記入を控えさせていただきました。

大名家や大店の記録などもデジタルアーカイブして欲しい。それから、各地の地誌。今からは地方の時代に突入するが、地方の記録が消滅してなかなか入手できない。

とても活用の幅のあるサイトであり、おもしろいと思う。その分もっと多くの人に認知してもらいたいと思った。

いつも利用しているがとても役に立っているサイトだと思う

これからも、たまにですがこちらのホームページを見る時間を作っていきたいと思います。

歴史の認識は、世代が変われば、前の世代からの聞き伝えや、教科書や評論などの媒介者が入り、どんなに分かりやすく書かれても、媒介者の先入観が入り、厳密な意味で正確には伝わらず変化してしまうでしょう。アジ歴の資料は、正確な事実を伝える資料です。そこには、なんの先入観もありません。今後数百年経っても変わらない記録になりますので、根気良く、資料の整備を行って頂きたいと考えます。

知りたい情報と、検索で出てくる資料に差があるので、もう少し内容検索を充実させてほしい。

最近、アジ歴のサイトをみておりませんでした。今回、モニター登録をした際に開いた程度です。宝の山であるこのサイトの中から必要なものをひも解くことにより、行き詰まりつつある日本の将来のヒントが必ずや歴史の中にあると思います。これからも日本人の歴史認識を深めるためにも必要資料の公開をお願い致します。

私は日本セカンドライフ協会に所属し定年退職者を対象に「大人の謝意見学」的なイベントをしております。永田町では例として 国会図書館・議事堂・憲政記念館・議員会館等がありますが、アジア歴史資料センターも30分くらい見学コースになるかやがて、訪問しようと計画しております

全体的にわかりやすくしようというのはいいと思います。あとは検索の仕方がよりわかりやすく簡単に調べられることだと思います。一般の方は深くまではしらべません。しかし、専門の方は深く調べたいと思います。その両者がより使いやすくなるというのが大切です。広く人々にセンターを知らしめ、資料の検索はより簡単になれば最高です。

今後の益々の「いやさか」を祈ります。

わかる範囲で回答させて頂きました。回答の中には、稚拙な意見、無理な提案も多数あるかと存じますが、一市民、一般女性の意見として、ご参考になれば幸いです。

たとえば「玉音放送」として、あてはまる勅令の類が出てくるような、類似ワードや、検索の候補が提案されるような、検索機能もつけてほしい。

頻度は少ないですが、とても役に立つ機関だと思っております。これからもどんどん利用させて頂きます。

専門外でも楽しくみられるホームページだと思いますが、今後、明治時代の文化や社会風俗関連の興味深い資料が特集されるといいと思います。

大学生やそれ以上の方向けのように感じたので、中高生が楽しめるコンテンツを増やすのもいいと思いました。(歴史が苦手な生徒でも楽しめるような)

DjVu形式については、何故DjVu形式でなければいけないのか説明が必要だと思います。

<p>とても重要な資料公開だと思いますので、よりいっそう広く利用されることを望みます。非力ながらそのための協力はさせていただきます。</p>
<p>このセンターについては知人に教えてもらうまでは全く知りませんでした。今後、時間をかけてじっくりと観ていきたいです。そんな初心者の意見など参考にならないと思いますがモニターに参加させて頂き有難うございました。</p>
<p>今回の大震災で改めてアジア各国が日本の行動を注目しています。もう少し落ち着いたら当センターの出番がやってきます。そんな予感がします。</p>
<p>一時的なアンケートだけではなく1年間モニターとして利用者とセンターの方との話し合いやアンケート調査など、短い期間だけでなく長いスパンであるといいと感じる。</p>
<p>全般に堅い雰囲気なので、できれば若年層にもどんどんアクセスしてもらえそうな工夫がほしい。ネットでの宣伝も多いにやっていたいいのでは。</p>
<p>トピックスなども含め全般に第二次大戦の扱いが少なく、腰が引けたような感すらある。最も必要とされる情報だと思うので力を入れてほしい。</p>
<p>いいところはそのままで、悪いところはぜひ改善し、使いやすさ向上を目指して欲しいです。</p>
<p>WEBで史料を閲覧できることにはたいへん感謝しています。</p>
<p>資料の整備は地味で労力のかかる作業と思いますが、よりスピードアップして実施すべき思います。経費をかけることには十分意義があると思います。</p>
<p>アジア歴で学んだことが、クイズ方式で回答できるようにして知識が残るようなシステムを構築していただくと、若い人や生徒・学生の勉強になると思う。また、その学習歴を生涯学習パスポートのようなものに残せるような証明を発行してほしい。</p>
<p>今のところ3つあるアジ歴関係機関がさらに増えることを期待しています。</p>
<p>検索ができない場合の、検索アドバイザーなり、代理検索(有料でもけっこう)ができれば、助かります。</p>
<p>防衛省防衛研究所、国立公文書館、外交史料館に所蔵する全ての史料について、一刻も早い電子化を期待する。</p>
<p>検索した時に、表示される資料が増えていることに気がつくことがあり、地道な努力に敬意を表します。今後は、他の機関とのリンクが拡張され、各機関でも、死蔵されている文書の公開機運が高まることを期待します。</p>
<p>研究仲間の知人に詳しく教えてもらうまで、よく知りませんでした。使ってみると、とても便利だと思います。でも、古文書とまではいきませんが、まったくの素人では原文は読みにくくてとつきにくいかもしれませんね。それでも、もっと多くの人を知って利用する価値のあるものだと思います。</p>
<p>今後登録の資料だけでも良いので、新規登録資料には登録年月を記載し、検索条件で抽出できるようにしてほしい。</p>